The Article 9 Society Hiroshima
第九条の会ヒロシマ
会報111号
2021年9月

世話人代表　藤井純子　URL：http://9-hiroshima.org/
連絡先　〒734-0015　広島市南区宇品御幸1-9-26-413
TEL：070-5052-6580　FAX：082-255-6580
E-mail：fujii@jca.apc.org（藤井）
郵便振替　01390-5-53097 第九条の会ヒロシマ 年会費2,000円

いのちと人間の尊厳を守る政治へ

市民と野党の力で
さぁ政権交代を！

市民が変える
政治を変える
選挙で変える

だいじな選択

国会を開き、真剣な議論をする当たり前の政治を
人びとの願いを真剣に聞き、いのちを守る政治を

広島でも衆院選に向け動き始めています。広島１・２・３・５区市民連合は７月24日、「政権交代を実現する広島集会」を開催。４月の参院再選挙で勝利した宮口治子さんがしっかり意見を述べ、国会報告をし、立憲４野党と衆院候補予定者が選挙に向けた決意を表明しました。いよいよキックオフ！

全国の市民連合４つの柱
①憲法に基づく政治と主権者に奉仕する政府の確立
②生命、生活を尊重する社会経済システムの構築
③地球的課題を解決する新たな社会経済システムの創造
④世界の中で生きる平和国家日本の道を再確認する

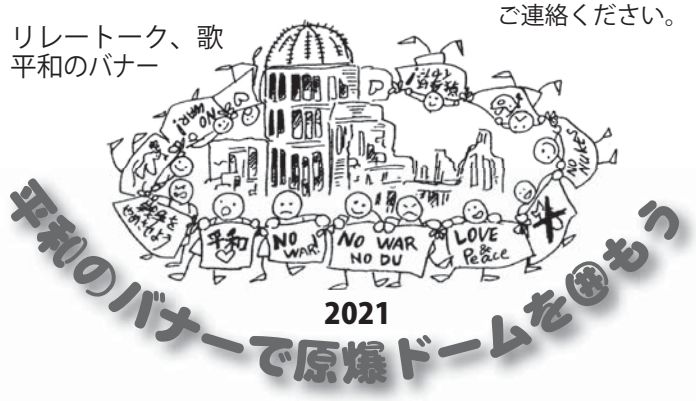
これは野党共闘のための最大公約数です。課題はそれぞれ、活動も考えもそれぞれ。だけど自公政権から政治を取り戻すためには、お互いに尊重し、ともに闘わねば叶いません。４ 本柱を掲げ人びとの願いに応える政治に変えるため、野党も市民も具体的な行動を。
（同封の市民連合ガイドブックをご活用ください）

立憲４野党

宮口参議院議員

立憲野党（立憲民主、共産、社民）の予定候補者たち　この日参加できなかった予定候補者からはメッセージが寄せられました。

日本国憲法公布から75年　**11**月**3**日（水）14:00～15:00（予定）
原爆ドーム前
衆院選によっては日時変更有
ご連絡ください。
リレートーク、歌
平和のバナー



主　催：平和のバナーでドームを囲もう実行委員会
連絡先：080-1913-3557（佐藤）
090-4692-6667（冨樫）
070-5052-6580（藤井）

会報111号　もくじ

1　21この秋の市民と野党で政権交代
2　この秋、いのちとくらしを守るだいじな選択を …… 藤井純子
3　8.6新聞意見広告の報告とお礼 …… 石岡真由海、西浦紘子
4　コロナ事態を契機に浪費型文明からの脱却を …… 湯浅一郎
7　土砂災害危険渓流「蛇ノ谷川」上流の尾根に風車を建てるな　松田宏明
8　ロンドン便り「東電福島原発事故10年企画ビデオ」 …… 小林麻子
10「1945ひろしまタイムライン」差別問題を考える …… 笹川俊春
12 高校「歴史総合」で「慰安婦」記述はどう変えられたか …… 岸直人
14 金学順さんと出会っていますか …… 岡原美知子
16 8.6新聞意見広告　購読者からのメッセージ
18 賛同者からのメッセージ
23 活動報告　24 お知らせ・後記

この秋、命と暮らしを守るだいじな選択を

藤井純子（第九条の会ヒロシマ世話人代表）

アフガニスタンに残された日本の人や関係者は出国できるのか？　8 月末の米軍撤退でタリバンが数日でほぼ全土を制圧し、ガニ政権が崩壊した…　英国など各国はカブール空港に大使館機能を移し、自国民や現地関係者を出国させたが、日本は大使館の全員をいち早く脱出させた。自衛隊機で連れて帰るとしても ISの自爆テロで、カブール空港にたどり着けない人々が数百人。タリバンとの交渉もできず置き去りにした。アフガニスタンの協力者の難民認定を拒む政策で初動を遅れさせたと外務省も認めている。タリバン幹部は外国人の安全な出国を約束するとの情報もあるが、現地組織にまで伝わるのか不明だ。

20 年前の 9.11、米国で同時多発テロが起き、アフガニスタンは悪、米国は正義という構図で、アフガン戦争が始まった。米関係の死傷者も増え軍事費はふくらむばかり。米軍は、戦う意思もないアフガン政府軍を 20 年間訓練した。アフガン政府は米軍に支えられた傀儡国家にすぎず、自立できなかった。中村哲医師は、地域の人々に自力で生きてほしいと願い、現地の人と共に 25 ㎞もの用水路を掘って豊かな農地を残した。こんな活動こそ本当の支援だ。泥沼のままで米軍は撤退する。地域を不安定にしておきながら、そのまま放りなげる罪は計り知れない。

日本政府も「邦人・関係者を出国させる」ためというなら民間機の方がいい。にもかかわらず日本政府は今回もまた米軍同様に軍隊とみられる自衛隊を派遣した。緊急事態だからとものものしく国家安全保障会議での決定－外相臨時代理による依頼で防衛相が命令する、安保関連法を試みたのだろうか。アフガニスタンにはこれから 9 条の理念に基づく支援に知恵を絞ろう。

先日、TBS の「報道特集」で南西諸島のミサイル要塞を放映していた。琉球弧への配備は地図上で知ってはいても実際に使う様子を見るとその軍事的リアルに愕然とする。バイデン米政権が「台湾有事は近い」と言ったことから日本の報道でも頻繁にこの臭い言葉が使われるようになった。この間自衛隊は、沖縄近辺で日英、また 4 か国共同の演習をしたり、今や日本は対中最前線とばかりに軍事演習を公開し、中国の脅威だと見せつけようとしている。菅首相は読売新聞（8/12）によると米誌に、毎年ほぼ GDP 1 %以内に抑えられてきた防衛費を「1 %以内にこだわらず、必要な予算を確保する」と述べている。「台湾有事」に自衛隊や海保隊員の命を差し出すつもりか。

防衛省 2022 年度概算要求 5 兆 4797 億円 。南西諸島の防衛力強化を言い昨年当初予算より増え、1% 枠を突破する可能性大。研究開発費の過去最大は、日本の軍事大国化を思わせ、更にこの地域での軍拡競争を加速させる。この防衛力強化予算が本当に必要なのか。広島でも基地を監視し、基地のある町との連携・交流をしているグループがある。コロナ禍の今こそ多くの人に基地の現実を投げかけ、拡大強化の歯止めにしたい。

自民党の総裁選が 9 月 29 日、衆議院選挙は 10 月か、任期切れまでやれば 11 月末か。いつあろうとも政権交代は野党と私たちの頑張りにかかっている。4 月、広島の参院再選挙や北海道・長野の補選に続き 8 月の横浜市長選で野党統一候補が 18 万票の大差をつけて勝利。投票率が 12%も伸び、勝利の大きな要因となった。投票に行けば政治は変わる。政権交代への大きな希望が出てきた。安倍内閣は選挙の争点をぼかし、半数に上る無党派層が選挙に行かないように仕向け、低投票率に持ち込んで勝つという戦術をくり返してきた。私たちの選挙権を奪い自分の利益にする、そんな策略に負けてはいられない。立憲野党も市民の意見をしっかり聞いた上で、「自分たちが政権をとったらこれをする」と無党派の人々に力強く示してほしい。

8 月 21 日、市民連合の全国意見交換会が開かれ、「野党共闘で政治を変えよう！、いのちと人間の尊厳を守ろう」との衆院選声明を出した。共通政策は、①憲法に基づく政治の回復②コロナ禍に対する公衆衛生、医療、介護体制の整備　③コロナ禍に関するあらゆる生活保障のための公的支援　④格差と貧困を是正　⑤原発のない脱炭素社会、エネルギー政策転換　⑥自由で公正な社会の実現　⑦一人ひとりの人間の尊厳、ジェンダー平等　⑧権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現。

安保政策は、①の憲法に基づく政治に集約されている。自衛隊の海外派兵反対とか、南西諸島のミサイル基地はいらない、までは深入りしない。最低限、憲法に基づき、平和外交を求めるでは物足りないという人もいるかもしれないが、中野晃一さんは「野党共闘を実現するためにできることは限られていることを知ることが大切」と口を酸っぱくして言われる。自民党には「平和外交」はないという大きな違いは確かだ。

内閣支持率が大幅に下がり、自民党支持率も 3 割台に下がり菅首相は政権を投げ出した。コロナ対策に専念するためなど言い訳にもならず、首相として陣頭指揮もとれないということか。いったいコロナ対策は？　ホントに最後まで無責任だなぁ。もともと人の意見も聞かず人の願いに応えようなど責任を感じる人ではなかったし、そんな人を首相に選んだ自民党は、誰が総裁になったとしてもおんなじだ。政権交代のチャンスであり、今回政権交代ができなくても、自民党はかなり支持を失い、市民の声を意識した運営となる。どんな新政権もそれを育てる市民側の粘り強さが大切だ。そのためにも各地の市民が選挙前の今から新政権に期待することを掲げよう。当分、連日自民党の総裁選のニュースが流れ、世間は騒がしくなるだろう。しかし私たちの求めるものは「いのちとくらしを守る」政治。軍備でなくコロナ対策にお金を！　野党も支持率が上がらない中、選挙後も見据え、市民の役割は大きい。ビジョンは市民の中にある。

8 月 6 日のヒロシマの式典で菅首相がすっ飛ばした文言のことはここでは省くが、それにしても、長崎の田上市長のメッセージは「戦争をしないこと、東北アジア非核地帯構想」と平和憲法の上に立っていて素晴らしい。毎年、松井広島市長と比べて羨ましく思うのだが、それはきっと長崎市民の力によるものだ。私たちも頑張らなくっちゃ。　　2021 年 9 月 3 日

憲法を活かそう！ 8.6 新聞意見広告を今年 2021 年も掲載することができました！

ご参加、ご協力くださった皆さま、ありがとうございました

第九条の会ヒロシマは、29 回目の 8.6 新聞意見広告 2021 を掲載することが出来ました。7 月 28 日の報告以後意見広告を見て賛同し入金くださった方が 57 人も増え、4,482 の賛同個人・団体（匿名含）となりました。世話人一同、心より感謝申し上げます。

今年は、朝日新聞朝刊全国に全 15 段と、中国新聞朝刊全エリアに全 15 段を掲載することができました。実際の新聞では、モノクロですが、配布用のカラー版を同封しました。ご覧の上、ご感想やご意見などをお寄せいただけましたら幸いです。

今年、多くの賛同が頂けたのは、呼びかけにご協力くださったり、昨年からコロナ事態が続き、集いや行動など市民が声を上げる場が少なく意思表明をする場として、この新聞意見広告に参加してくださったからかなと思います。

深刻なコロナ事態は、国会も開かず真剣に考えない政府による人災です。ナンとそのピンチをチャンスになどと言いまたもや緊急事態条項を憲法に、という改憲を言い出す始末です。

私たちは政権交代を実現させて民主主義を取り戻し、多くの人と共に考え行動し、社会全体を変えていきたいと思います。8.6 新聞意見広告が市民をつなぐ一助になればと願っています。

―8 月 6 日の事実と意味を問い続けるー

8 月 2 日から一週間、朝日デジタルにも右のイラストと共に掲載されました。

76 年前の子どもたち、現在の子どもたち、共に考えて…

デザイン（グラフィックデザイナー 石岡真由海） 今回の意見広告は数字＋原爆ドーム＋被服支廠が主役でした。その日が月曜日だったことはその瞬間の人々の暮らしをより具体的に想像できるヒントになりました。原爆死没者の人数を表示することにためらいもありましたが、基本的な情報として全国の人に知ってほしかった。この数字がきっかけで、これまでの膨大な熱量を持った被爆の実相記録や表現行動に触れ、例えばこの死没者の中に入っていない人々が無数にいることもだんだんに知っていけばいいと願う。平和をないがしろにし言葉と表現に責任を持たない政治が並走するこの世界で、この意見広告が実現したことを、賛同者の皆さんに感謝し、心強く思います

メッセージ 今年は、賛同してくださった皆さんから昨年よりずっと多くのメッセ―ジが寄せられました。その中から世話人で選ばせて頂くのは、毎年のことながら至難の業。平和憲法の改悪、9 条空洞化、米軍基地・自衛隊問題、原発、教育、くらし、差別･･･

人権・環境を破壊してきた自公安倍・菅政権や背後にいる超保守的な人々、それを操る強大な企業・超大国…

メッセージから日本の様々な課題について考えて頂ければ幸いです。

名簿整理・校正 毎年掲載するにあたり、お名前の字や読み、掲載可・不可、住所などを振込用紙と確認して名簿整理を行います。今年は世話人＋心強い 7 人の方々と 2 日かけてチェックし、紙面に流し込んだ後に何度も校正しました。それでもどうしてもお名前を掲載してなかったり、字が違っていたり、毎年悩むところです。もし何かお気づきがありましたらご一報いただき、申し訳ありませんが、お許しくださいますようお願い申し上げます。

会計（西浦紘子）

政府のコロナ禍に対する無策ぶりに加えてオリンピック開催と不祥事連発に皆さんの怒りが炸裂したのでしょう。朝日新聞全国版全 15 段・中国新聞全 15 段という無謀とも思える取り組みを達成することが出来ました。心より感謝いたします。

これからも賛同してくださった方々、意見広告を見て共感してくださる皆さんとともに、憲法改悪を許さず、平和憲法を生かす社会を願い、声をあげていきたいと思います。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（名前明記外の文責：藤井純子）

生物多様性と脱軍備をキーワードに社会変革を

- コロナ事態を契機に浪費型文明からの脱却を -

湯浅一郎（ピースデポ、環瀬戸内海会議）

新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的感染が止まらない。世界保健機構 (WHO) によれば、(注 1）2021 年 8 月 20 日現在、世界の感染者は約 2 億 988 万人、死亡者約 440 万人である。日本の感染者は 122 万 7,340 人、死亡約 15,534 人である。日本では、毎日 2 万人を超える新規感染者が出続け、東京都は 4 回目の緊急事態宣言から 1 か月半がたつ中で週平均 4,000 人を超える新規感染者が出るという深刻な事態が続いている。

コロナ禍は 1 つの感染症としての意味にとどまらず、現代文明や人間社会全体のありようを問う重大事であり、私は、”コロナ事態”としてとらえたい。ここでは、今こそコロナ事態を契機に生物多様性と脱軍備をキーワードに浪費型文明の変革に向かうべきことを提起したい。

1．コロナ事態は、軍縮を進め、人間の安全保障経費を増やすよう促している

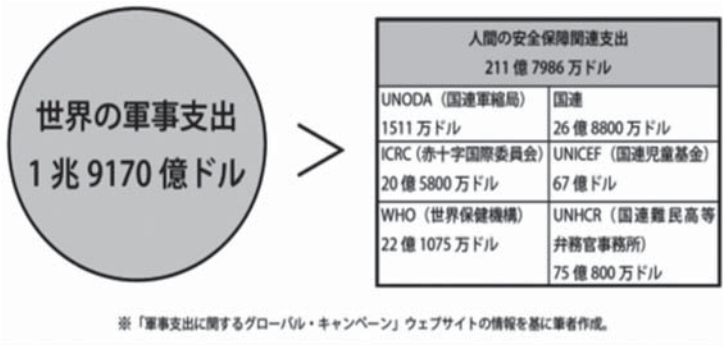
―世界の軍事費 (2019 年) は、
「人間の安全保障関連支出」の約 100 倍―

新型コロナウイルスの前で、軍事力は、「人間の安全保障」に全く役に立たず、核兵器を初めとした「軍事力で平和を担保する」という思想は説得力を失っている。ストックホルム国際平和研究所 (SIPRI) によれば、2019 年の世界の軍事費は 1 兆 9,170 億ドル。1 ドル 110 円とすれば約 211 兆円。38% が米国、2 番目の中国と合わせると全体の 52%。憲法 9 条を持つ日本が第 9 位。10 傑の中に、中国、日本、韓国という 3 か国がいて、北東アジアの軍事的緊張の高さを物語る。

一方、国連、WHO(世界保健機構)、難民高等弁務官事務所など国際的な「人間の安全保障関連支出」の総額は約 200 億ドル、日本円で 2.2 兆円である。つまり、ほぼこの 100 倍が世界の軍事費である (図 1)。軍事費を削り、「人間の安全保障」にもっと投資すべきだという声を広げよう。核兵器禁止条約 (TPNW) が発効したことで、この声はより大きくできるはずだ。コロナ事態は、軍事費を大幅に削り、その分、「人間の安全保障」関連経費を増やすよう求めていくことの正当性を説得力のあるものにしている。軍縮への大きなチャンスである。

こうしたことを踏まえつつも、ここでは、より深刻で本質的な問題として、コロナ事態が起きた背景と原因について、コロナ事態は人間活動の拡大により生物多様性の低下が急激に進行した結果ではないかという仮説につき、包括的に述べる。そこから社会経済システムを含む文明の変革が求められていることを提起したい。

図 1　世界の軍事支出と「人間の安全保障」関連支出



2．2021 年は、生物多様性の低下を食い止める重要な年になる

今、生物多様性の観点から、人類文明の在り方が根本的に問われている。そして 2020 年は、2010 年に策定した生物多様性に関する「愛知目標」の目標年であり、2030 年、2050 年に向けた「ポスト愛知目標」を定める重要な年であった。愛知目標とは、2010 年 10 月に名古屋で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議で、2020 年までに「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」べく合意された国際公約である。その背景は、1993 年 5 月発効の生物多様性条約にある。この条約は、「生物の多様性の保全、その構成要素の持続可能な利用、及び遺伝資源の利用から生ずる利益の公正、かつ衡平な配分」を目的としている。

2012 年、「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットホーム」(以下、IPBES) が発足する。これは、気候変動枠組み条約における「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC) に相当する国際組織で、生物多様性に関する科学的情報を各国政府に提供する役割を担っている。2019 年 5 月、IPBES が世界初となる「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書」(注 2) を発表した。そこには例えば、「世界中に約 800 万種と推定される動植物について、今後、数十年のうちに、約 100 万種が絶滅する危機にある」と衝撃的なことが書かれている。

これを受けて愛知目標の目標年である 2020 年 10 月、生物多様性条約の第 15 回締約国会議 (COP15) を中国の昆明 (クンミン) で開催し、ポスト愛知目標を定める計画になっていた。しかし、コロナ事態の発生で、昆明会議は 2021 年 5 月 17 日～ 30 日に延期され、現在、21 年 10 月 11 日～ 24 日に再々延期となっている。

2020 年 9 月 15 日、生物多様性条約事務局は、世界の生物多様性の概況に関する報告書「地球規模生物多様性概況第 5 版

(GBO5) 政策決定者向け概要要約」(注 3) を発表した。

報告は、まず愛知目標の 20 の目標について一つ一つ達成状況を検証した。完全に達成された目標は無いとした。そして以下の 6 項目だけが部分的に達成されたとしている。

目標 9：侵略的外来種の制御・根絶
目標 11：陸域の 17%、海域の 10% を保護地域などにより保全
目標 16：ABS に関する名古屋議定書の施行・運用
目標 17：生物多様性国家戦略の策定・実施
目標 19：関連知識・科学技術の向上
目標 20：資金を顕著に増加

このような評価をした上で、同報告書は、生物多様性の損失を少なくし、回復させるために、「今までどうり」(business as usual) から脱却し、社会変革 (transformative change) が必要とした。この「社会変革」はポスト愛知目標のキーワードである。これにより、生物多様性の減少を食い止め、むしろ増加に転じさせることで、2030 年以後に生物多様性のネットゲインを実現する可能性を指摘している。同報告は、2021 年の COP15 において合意をめざすポスト愛知目標の骨子を提示している。

これらに関し、日本は積極的に対応してきた。1992 年、生物多様性条約が採択された国連環境会議 (リオデジャネイロ) において、いち早く批准する。その後、2008 年には生物多様性基本法を施行し、2010 年、名古屋での第 10 回締約国会議 (COP10) で議長国を務め、愛知目標の合意に尽力した。5 次にわたり生物多様性国家戦略を閣議決定し、国の事業においてこれを尊重する姿勢を保持している (現時点で最新は 2012 年 9 月閣議決定の第 5 次国家戦略)。2020 年 1 月、COP15 で合意されるであろうポスト愛知目標に呼応して、新たな第 6 次国家戦略を 2021 年に閣議決定すべく、作業を開始した。環境省が生物多様性国家戦略研究会を組織し、2020 年 1 月 7 日の第 1 回から、これまでに 7 回の研究会を開催している。2021 年 1 月 29 日には現行国家戦略を最終評価し、2021 年 3 月、「生物多様性及び生態系サービスの総合評価」(JBO3) 政策決定者向け要約報告書を発表している。

3．コロナ禍は、生物多様性を低下させ続ける人間活動の結果

さらに 2020 年にコロナ禍が世界規模で蔓延したことが、生物多様性の低下と関係しているかもしれないという仮説がある。IPBES の 2019 年報告書「政策決定者向け要約」には、生物多様性の低下が感染症の危機を広げており、コロナ禍のような事態が起きることを懸念する記述がある。即ち、「開墾や生息地の分断、または多くの細菌性病原体に急速な抗生物質耐性の発現を引き起こす抗生物質の過剰投与といった人間活動によって、野生動物、家畜、植物や人の新たな感染症が増える可能性がある」としている。

IPBES を主導する共同議長ジョセフ・セッツルら 4 人の専門家は、コロナ禍が拡がる 2020 年 4 月 27 日付けの短い論文 (注 4) で、「これはほんの始まりにすぎない。将来のパンデミックの可能性は非常に大きい。人に感染することが知られているタイプの未確認のウイルス 170 万種が、哺乳類や水鳥にまだ存在していると考えられている。これらのいずれかが次の『疾患 X』になる可能性があり、それらは、COVID-19 よりもさらに破壊的で致命的な可能性がある」としている。生物多様性の低下がウイルス感染の確率を高めている可能性があるとしている。

この仮定に従えば、コロナ事態は生物多様性を急激に低下させ続ける人類に対する自然からの警告である。今は、2020 年 10 月の昆明での COP15 において、生物多様性を減少させ続ける人類文明の在りようを根本的に見直し、2030 年へ向けたポスト愛知目標を策定し、グローバルな社会変革へ向け出発しようとしていた重要な年に、コロナ禍が発生したことの意味を深く熟慮してみることが必要である。

4．浪費型文明を見直し、社会変革を進めよう

人類が利潤追求と効率性を最優先させる経済活動を拡大させ際限のない開発を続けることで、生物多様性の低下を引き起こしていることが、コロナ事態のような感染症の発生要因なのではないか。これは仮説にすぎないが、我々は、これを深刻に受け止めるべきである。先に見た IPBES 専門家論文は、それを以下のように指摘している。「気候変動や生物多様性危機と同様に、近年のパンデミックは人間活動、とりわけいかなるコストをかけても経済成長を評価するパラダイムに基づいた、世界の金融および経済システムの直接的な結果である」。

そう考えると、自然を征服の対象と捉え、科学技術の発展を背景に無制限に開発を推し進めてきた現代文明こそが、生物多様性の減少を急激に進行させ、コロナ事態を引き起こしたことになる。この文脈においては、コロナ事態によって見える現代文明の脆弱性が問題なのではない。それとは逆に現代文明こそがコロナ事態のような感染症を引き起こしたのであり、同様の事態を繰り返さないためには、現代文明のありようそのものを改めるしかないことになる。

先に紹介した専門家 4 人の論文は、次のようにも提言している。「恐らく最も重要なこととして、絶滅の危機にある動植物を守るためにも、社会変革すなわち全てのセクターにわたる社会的・環境的責任を増進させ、目標や価値観を含め、技術的、経済的および社会的要素に関連するシステム全体を根本的に再編成する必要がある」。

2020 年 1 月、公開作業部会 (OEWG) が「ポスト愛知目標」のゼロドラフトを発表した。その底流にある概念は「社会変革」である。草案は「30 年までに淡水、海洋、陸域生態系で (生物多様性の) ノーネットロスを達成し、50 年までに (20%) 以上を向上させる」との目標を掲げた。さらに「生物多様性を回復軌道に乗せるため、緊急な行動を社会全体で起こす」とし、大胆な社会変革が不可欠だと主張している。

そして、2021 年 7 月、ポスト愛知目標の第 1 次草案が発表された (注 5)。21 の目標を設定しているが、目標 3 は、「少なく

とも世界の陸域、海域の 30%を保護区にする」としている。愛知目標では、「陸域の 17%、海域の 10%」としていたのと比べ、今回は、これを大幅に拡大したことになる。

10 月の昆明会議で , この「ポスト愛知目標」が合意される。日本政府は、それを受けて 21 年内にも「第 6 次生物多様性国家戦略」を閣議決定する。両者にはキーワードとして「社会変革」が盛り込まれると考えられる。

5．今後に向けて

日本政府は、それを推進せねばならない立場になるのである。その時、政府は、「ポスト愛知目標」や第 6 次生物多様性国家戦略に照らしてあらゆる国策、公共政策を見直すことができるのであろうか？　例えば、辺野古新基地建設、原発の再稼働や新増設、とりわけ上関原発予定地の海面埋め立てなどはどうするのか。これらは、「法的拘束力は持たない」という言い訳をして、「これまでどうり」の施策を強行する可能性が高い。政権交代でもない限り、どう見ても「社会変革」に本気で取り組むとは考えがたい。そうであれば、我々市民は、政府としても取り組まざるを得なくなった政策をチェックしつつ、市民社会としての構想を描き、具体的に政府の責任を追及すべきである。

18 世紀の産業革命に端を発し、科学技術の進歩を背景に、資本主義的社会経済システムを運用し、特に 1970 年代初めからは石油漬け文明とでもいうべき時代が続いた。その中で、人類は生物多様性を急激に低下させ、地球規模での気候変動を左右するに至った。1970 年代の石油危機からほぼ半世紀を経て、その弊害が気候危機という形で表面化し、生物多様性の低下を食いとどめるめどがたっていない中で、コロナ事態に遭遇したことの意味は重い。今は、産業革命以降の人類の歩みを省察すべきときである。しかるに残念ながら、政府の施策は、そのような大局的で、長期にわたる視野での重大な事態をほとんど対象化できないまま、コロナ禍への対応に追われているだけである。

時代は文明の転換期の渦中にある。転換は、いつごろから始まっていたのか？少なくとも、1960 年代後半から始まっていると考えられる。例えば、呉の海岸生物調査（ 図２ ）から見える 1960 年代後半からの生物多様性の急激な低下は、それを示唆している。また、もう少し長くみれば、19 世紀の後半から、そこに入っていったとみることもできるかもしれない。リヒトホーフェンが、瀬戸内海の風景を絶賛したのち、「かくも長い間保たれてきたこの状態が今後も長く続かんことを私は祈る。その最大の敵は、文明と以前知らなかった欲望の出現とである」と懸念を示した時、彼の脳裏には、文明の暴走により、将来、自然が、社会が壊されていくことへの不安が浮かんでいたに違いない。

その際、一人の人間の人生全体は、その転換の中の一端を担うことになる。自分史をその観点から見つめなおしてみることには重要な意義があるだろう。例えば、1971 年から女川原発反対闘争を皮切りとした反公害闘争への関与という半世紀強にわたる筆者の経験は、文明の転換期における世界規模の変遷の一部をとらえているのではないか。そこで感じ、行動し、取り組んだことの中には、社会のありようを変革していくうえで、貴重な指針が含まれているはずである。今、我々一人一人のかけがえのない人生の中で経験してきたことを活かしながら、生物多様性と脱軍備をキーワードに社会を変えていく取り組みを共に歩みたい。

注：

1. 世界保健機構ホームページ。https://covid19.who.int/
2. IPBES：「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書」(2019 年 5 月)。
3. 生物多様性条約事務局：「地球規模生物多様性概況第 5 版 (GBO5) 政策決定者向け概要要約」(2020 年 9 月)。
4. ジョセフ・セッツルら IPBES 専門家ゲスト論文：https://ipbes.net/covid19stimulus
5. 生物多様性条約事務局 (2021 年 7 月 16 日)：ポスト愛知目標第 1 次草案

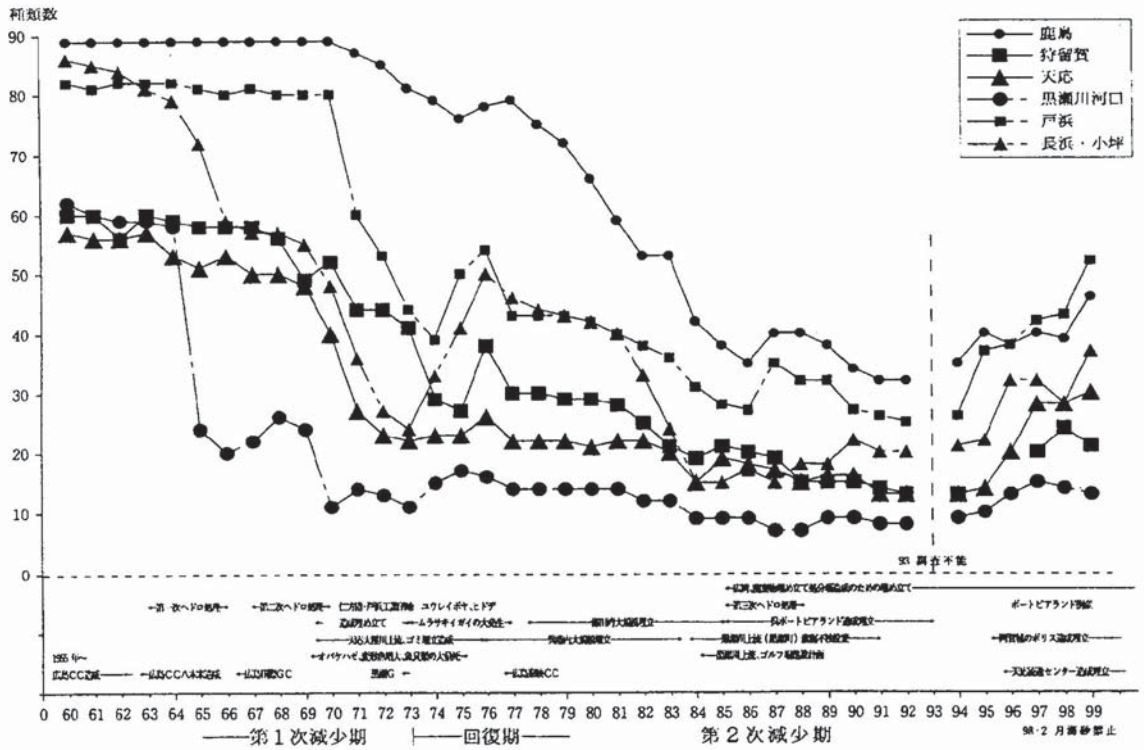


図２　呉周辺の海岸生物の地点別・総種数の年次別変遷（故藤岡義隆氏作成）

土砂災害危険渓流である「蛇ノ谷川」上流の尾根に風車を建てるな！

松田宏明（中国山地の風力発電建設を悲憤する会）

2020年6月22日、東京の電源開発会社＝JPOWERによる「(仮称)広島西ウィンドファーム(以下「広島西WF」という）事業」の環境影響評価計画段階配慮書の手続きが始まった。計画地は、広島市佐伯区湯来上水内（かみみのち）、廿日市市吉和、山県郡安芸太田町筒賀にまたがる。風力発電機設置想定範囲は、立岩山から市間山、小室井山から高崎王冠山、奥ノ原山から鷹巣山、湯来冠山から滝谷山、3つの尾根筋に高さ150m出力4300kWの風車が36基立ち並ぶもくろみ。最大15万4800kWの国内最大級の計画である。

この現実は、町内会長や土木業者らほんの一部の住民にのみ伝えられて数ヶ月後に一般住民は知ったありさま。そんな中で、風力発電の実態を知った住民たちが声をあげた。湯来町では「中国山地の風力発電建設を悲憤する会」(略称「悲憤の会」)、「湯来町の自然と命を守る会」、安芸太田町では「広島西WFを考える会」「有志の会」が結成され、学習や反対運動などの取り組みを始めた。まず配慮書に対して住民は多くの意見(307通457件)を事業者に届けた。その内容は、風車の超低周波音による健康被害、尾根筋への風車の立地等が土砂崩れなどの災害を引き起こしかねないこと、広大な森林伐採による動植物生態系への影響、工事に伴う渓流や河川の水質の悪化、湯来温泉の源泉や、井戸水や谷水などの生活水の枯渇、景観への影響である。昨年8月には、「悲憤の会」による広島市議会へ反対決議を求める請願、ウィンドファーム浜田の視察、その後二度にわたる広島県への申し入れ、同11月「有志の会」による安芸太田町議会への陳情。同9月「広島西WFを考える会」等での風力問題の学習会、今年2月にかけて「悲憤の会」主催の防災学習会等が続いた。その結果、住民意見は1280通428件に増加。環境影響評価法施行以来、全国で最多の意見数となった。

自然を活かした町づくりとの整合性を問う安芸太田町

安芸太田町は配慮書意見で「自然を活かした町づくりを進めようとしている矢先の計画提案ということで、環境への影響とは別の視点、当町の町づくりの方向性に適うものか否かといった観点からも事業実施の当否について検討すべきと考えている」と慎重姿勢を示した。町議会は、昨年11月島根県のウィンドファーム浜田を視察。今年になって3月町議会は「大規模風力発電施設に対する町有地利活用の不同意決議書」を全会一致で可決。6月、町は住民との意見交換会を経て、7月、町長は「土砂災害の発生リスクが高まる」として開発を受け入れないと表明、JPOWERには町有林を賃貸、使用させない意思を示した。現在、安芸太田町での立地は事実上不可能になっている。

疑問視される事業者の姿勢

地域に様々な影響を及ぼす事業にも関わらず、住民に適切な周知はなされていない。一般住民は昨年6月末に新聞で初めて知ったが、湯来町の上水内町内連合会長は「昨年2～3月佐伯区役所の『地域起こし推進課』から連絡が入り、後日事業者が連合会長宅を訪問し、計画に関する諸資料をもとに説明した」と述べている。少なくとも4ヶ月間、一般住民は蚊帳の外に置かれた。また、昨年12月の説明会ではJPOWERは「地元の人、少人数で話がしたい」と行政を通さず、連合会長に直接打診し、町内会長限定で自主的な説明会を開くことを決めた。透明性や公平性を欠いた事業者のあり方に住民からは不信の声が上がっている。

本来、計画は「事業計画策定ガイドライン(風力)2017.3策定」に従って進めなければならない。それには「初期段階から地域住民と適切なコミュニケーションを図る」と努力義務の規定があり、環境影響評価法に基づく説明会とは別枠での説明会が必要とされている。理由は、「『電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法』(以下FIT法と略)は、電気代に含まれる再エネ賦課金で成立している制度なので、事業内容を住民に説明すべきである」「住民の合意形成ができてない状況は本意ではない」(2021.6資源エネルギー庁新エネルギー課、電話での説明)。この努力義務規定に反していることは明らかであり、4月「悲憤の会」は、湯来町での一般住民無視の事実を中国経産局に示し、FIT認定取り消しを求めた。

申し入れの中で、JPOWERのFIT申請は2月10日に認可されたことを知った。つまり18円/kWhの買取価格で、発電開始から20年後まで販売できる。資源エネルギー庁「事業計画認定情報公表用ウェブサイト」では、認可は12万8000kW(4300kW×30基)。方法書の出力から縮小されていた。理由はわからないが、湯来の立地計画は申請されていなかった。中国経産局によると変更申請で立地場所を変えることは可能である。

経産省は「再エネに関するトラブルは全国一律に規制することはできない。地域の実情に合わせて、条例で規制する方針である」という。が「適切なコミュニケーションが図られているのか」チェック機能は地元にはない。県、広島市には、まずFIT法に関する窓口がないからである。中央省庁と地元行政の認識は大きく隔たっている。

危険な場所であることは承知している事業者

風車サイトに最も近い場所にある湯来町日入谷（ひのいたに）集落。過去の土砂災害の歴史を踏まえて、悲憤の声があがってる。「同集落にある善福寺の西方の裏山は西北の湯来冠山、西南の滝谷山の尾根筋。急峻で当寺境内の北隣を流れる土石流危険渓流・日入谷(ひのいたに)川・別名・蛇ノ谷川は昭和年間何度か氾濫、その都度、庫裡は床上浸水、西方の中流に砂防ダムを築造してどうにか落ち着いている。江戸時代に土砂災害から寺域を守るために門信徒が築造した120mにも及ぶ『日谷山の石塁』(旧湯来町文化財、日本土木学会推薦の土木遺産)がある」現在も、蛇ノ谷川は土砂災害警戒区域・土石流特別警戒区域に指定されている。

2021年2月15日、湯来西公民館での説明会でも、「尾根筋へ

日谷山の石垣

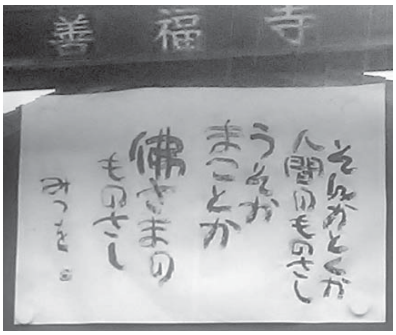
の風車立地は土砂災害を起こしかねない」と多くの意見が出た。JPOWER は「危険な場所であることは承知している。その中で何とかできないか、手立てをしてやりたい」と発言、会場が騒然となった。その後、意見交換も行われず「意見を出してください」に終始した。一方的な説明で、対話が成立しない。地元住民は嘆くに終わっている。

熱海土石流災害を受けての政府の動き

10 数年前から大規模風力、メガソーラー立地への反対の声があがり、環境影響評価の対象事業となった。そして、太陽光発電設備などの設置を規制する条例が 146 市町村で設けられ、兵庫や和歌山、岡山や山梨県で制定されている。

2014 年広島土砂災害、2018 年西日本豪雨災害。そして今も残るその傷痕。そのことを考えると、現実に起こっている気候変動に社会の仕組みをどう変えていくかという「適応策」を焦点化すべきだが、「緩和策」としての「脱炭素」「再エネ」だけが一方的に語られている。がしかし、7 月初旬に起こった熱海土石流災害で流れが少し変わった。太陽光発電設備とともに多量の盛り土が土石流れの源流近くにあり、まさに人災だってことで、小泉環境相は「地域の皆さんの命が脅かされかねないところに再エネを促進する、そういったことは私は現実としてあり得ないと思います」と重い腰をあげた。そして 5 月成立した改正地球温暖化対策推進法で新たに導入した「促進区域」(市町村が太陽光や風力等の再エネを積極的に整備する区域) から土砂崩れなど災害の危険性が高いエリアを除外する方針を固めたと報道されている。

太陽光、陸上風力による乱開発に歯止めをかけるために中央省庁が動き始めた。広島西 WF の具体的な事例を政治の世界に届けようと今考えている。善福寺山門前の掲示板にある「そんかとくか人間のものさし、うそかまことか佛さまのものさし」(相田みつを) の意味をかみ締めて、と思う。そして現地の人の想いにふれて欲しい。



（連絡 goki@orange.ocn.ne.jp

ロンドン便り「東電福島原発事故10年企画ビデオ」

ー反核在欧日本人グループの取り組みと問いかけー

小林麻子（ロンドン在住）

イギリスでは新型コロナウイルスの感染者数が、昨年末から今年初めにかけて一時一日 5 万人を超える日もありました。その後ワクチン接種が始まり感染者数の下降傾向が続き、ロックダウンも 4 月ごろから段階的緩和が始まりました。その後変異株による感染者数が再び増えつつある状況を横目で睨みつつも、7 月 19 日以降は、イングランドにおいてはロックダウンがほぼ全面的解除に踏み切りました。

私は、JAN(Japanese against nuclear)UK という在英日本人グループに入っているのですが、ここでは新型コロナへの感染拡大が始まって以来、毎週水曜日にオンラインで集まり社会問題について話し合っています。情報を交換し、知識を深める機会であると同時に、毎週一回決まった時間にお互いの顔を見ることで、長期的な外出制限が続いたヨーロッパで暮らす中、オンラインでありながら、人との繋がりや安心感を感じることのできる貴重な居場所となりました。

そのグループの中に福島からご家族と逃げてきた避難民のお母さんがいます。その方は被ばくした子どもを持つ親の立場から、東京電力や国への責任を問い国連にも赴き、海外から声を上げ、避難民の人権について訴えています。福島第一原発事故から 10 年経つ今年は、我々の在外邦人グループで何かできないかと話し合い、そのお母さんの経験と想いをビデオ動画にすることになりました。

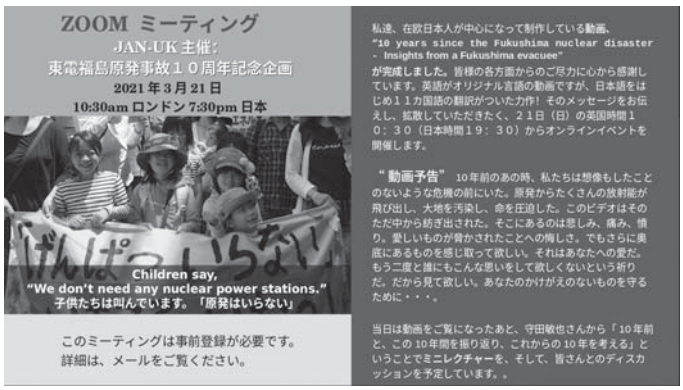
イギリスに暮らしていて、私の周辺の現地の人たちに福島の事故に対してどう思うかと聞いてみると、「もう 10 年経ったから収束しているだろう」、「日本でオリンピックをやるくらいだから復興も進んだのだろう」というものでした。今も廃炉への明確な目処が立っていないこと、避難民は少なくとも 4 万人は居ることなどを言葉で説明してもなかなか伝わりにくいと実感していました。

では、このビデオの内容はどうするのか。話し合いは昨年 2020 年の秋頃から始まりました。あれもこれも盛り込みたいとその想いは熱いものでした。この有志グループは、イギリスの原発建設に対しても反対を表明していることから、イギリスにおける原発建設の動向も入れたい。ターゲット視聴者は世界だから、イギリス・日本に限らないし、そもそも原発の正当性を問いたい。そのためにはウラン採掘や核のゴミについても含めたい。長いビデオにするより、なるべく 20 分くらいの短いものじゃないと。音楽は子どもたちを含む福島出身者が紡いだオリジナルにと。

ビデオの字幕言葉にもこだわりました。海外で作成・発信する意味として、やはり言語は多言語にしよう。色々な国の人たちに

知ってほしいというだけでなく、その言語にすることで、その人の母語で直接話しかけるように伝えたい。日本のこと（他国のこと）ではなく、自分の地域のこと、地球のこととして考え、今後どのような社会を作りたいのか考えて欲しいという想いがありました。その結果12言語の字幕が付きました。日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、カタロニア語、オランダ語、ポルトガル語、タミル語、韓国語です。翻訳は企画メンバーそれぞれが持つ人脈を頼り無償で行われました。ちなみに、この中のポルトガル語とタミル語は、毎週火曜日にオンラインで行っている英語版「はだしのゲン」の漫画読書会のメンバーが担当してくれました。

今年3月は原発事故から10年で、ヨーロッパでもフクシマ関連のイベントが例年に比べてさらに目白押しでした。そんな中、このビデオのお披露目イベントを3月21日にオンラインで開催しました。完成したビデオの題は、”10years since the Fukushima nuclear disaster－Insights from a Fukushima evacuee”(「ある一人の避難者から見た福島第一原発事故の10年」)



お披露目イベント当日は、京都「被爆2世3世の会」世話人、フリージャーナリストでもある守田敏也さんをお招きし「原発と晩ごはん」という切り口からのミニレクチャーをしていただきました。日本での民衆(お母さんたち)から始まった反原発運動を振り返り、核が我々の社会をどのように脅かし、それに対して市民はどう運動してきたのか、それらを踏まえた上で我々が、今後の10年、様々な角度から市民レベルで連帯し運動して行くことの大切さを問いかけ、鼓舞する力強い内容でした。

動画リリースに添えられた避難者Sonodaさんからのメッセージとビデオへの想いを紹介します。

＜メッセージ＞

10 年前のあの時、私たちは想像もしたことのないような危機の前にいた。原発からたくさんの放射能が飛び出し、大地を汚染し、命を圧迫した。このビデオはそのただ中から紡ぎ出された。そこにあるのは悲しみ、痛み、憤り。愛しいものが脅かされたことへの悔しさ。でもさらに奥底にあるものを感じ取って欲しい。それはあなたへの愛だ。もう二度と誰にもこんな思いをして欲しくないという祈りだ。だから見て欲しい。あなたのかけがえのないものを守るために・・・。

＜動画への想い＞

福島原発事故から 10 年、我が子は大学生になります。しかし、原発事故による被害を自己責任とされてきた10年でもありました。3月1日、子ども脱被ばく裁判の判決が福島地裁で言い渡されました。子どもの命と健康を守るための要求は全て棄却・却下されました。司法は、国と経済を守るために子どもたちを見捨てました。こんな国があっていいはずがなく、この動画を通してご自分のこととして考えていただけたらと願っています。

・このビデオは我々に語りかけます。「この被ばくを、この原発事故を、無かったことにしたいのは、本当は私たちの方だということです。子ども達の頭上に、大量の放射能が降り注いだことを、無かったことにしたい。自分たちの判断が悪かったことで、わが子に大量の被ばくをさせてしまったことを無かったことにしたい」。そして最後に伝えます。「あなたは福島原発事故が起こる前の私です」と。

・10 年前突然脅かされた愛しい命。国からも司法からも見捨てられながらその命を必死で守り続け、正義を求め続けた、その絶望的な痛み、悔しさ、憤り。その根底にある我々への、命あるものへの、愛する命を育むものたちへの圧倒的な愛。

・完成したビデオを観たとき、そしてその音楽を、子どもたちが連打する太鼓を聴いたとき、私は政府や東電の不当な対応に対して、今も放射能被害が連綿と続く世界であることに対して激しい怒りを感じました。同時に強い悲しみも感じました。自分がその世界を作っている社会の一員であることを思い胸が苦しくなり、焦燥感を感じました。

・Sonoda さんからビデオを通して私たちは愛を受け取りました。そして気づきました。我々はその愛に応えなければならない。果たして私が感じているこの怒りや悲しみに愛はあるのだろうか。愛を持って市民運動をしているだろうか。分断の溝を深めるようなことをしていないだろうか。これは今後運動を行っていく上で、自分の大きなテーマになっていくように感じています。

ビデオ URL:https://www.youtube.com/watch?v=EkYEKViOUgg
皆さんもぜひビデオをご覧になってください。

6月26日に行われた民衆議会(People's Assembly)企画の抗議デモ。核兵器廃絶運動も加わり英国保有核弾頭数上限4割引上げに対して反対を訴えました。

共生考　番外編Ⅷ「1945年ひろしまタイムライン」差別問題

笹川俊春（共生フォーラムひろしま理事）

はじめに

NHK 広島放送局（以下、広島放送局）が 2020 年 3 月から 12 月にかけて被爆 75 周年の大型企画として取り組んだ「１９４５ひろしまタイムライン」（以下､「タイムライン」）は､ツイッターでの発信という新たな試みとして注目され、フォロワー数も延べ 39 万を超えた。しかし、原爆投下前後の広島の様子を敗戦当時 13 歳の少年「シュン」の視点でツイートした 6 月と 8 月のツイートに対し、在日コリアンへの差別を助長・扇動するとの批判が噴出し、民族団体の人権救済申立や市民団体による抗議､市民による直接的な抗議行動へと拡大した｡共生フォーラムひろしまも 2 度に渡り「抗議および要請」を送付し、直接の対話を求めた。その詳細については共生フォーラムひろしまの会報『共生フォーラム』第 12 号と第 13 号に書いた。機会があればご一読いただきたい。ここではとりくみの経緯や詳細ではなく、会報では十分には触れることのできなかった視点での「タイムライン」差別問題とは何かについて書いてみたい。

問題の概要

まず、「タイムライン」の概要と問題のツイートを確認しておきたい。この企画は、戦中戦後の広島に生きた実在する 3 名の人物が「もし 75 年前にツイッターを使っていたら」との設定で、その日記やインタビューを元に現役の高校生や公務員、元民放アナウンサーら計 11 人が投稿を担当し､「一郎｣｢やすこ｣｢シュン｣の名前で創作した文章を、1945 年の日付と合わせて毎日ツイートするという企画であった。

広島放送局によれば「戦後 75 年がたち、戦争や原爆の記憶が薄れつつあるなか、若い世代に関心を持ってもらうため、身近なメディアである SNS と放送を連動させた企画として発足したプロジェクト」であり、被爆 75 周年の看板企画であった。問題となったツイートは「シュン」のツイートの内、6 月 16 日と 8 月 20 日に投稿されたツイートである。以下、そのまま引用する。

（6 月 16 日の投稿）「朝鮮人の奴（やつ）らは『この戦争はすぐに終わるヨ』『日本は負けるヨ』と平気で言い放つ。思わずかっとなり、怒りに任せて言い返そうとしたが、多勢に無勢。しかも相手が朝鮮人では返す言葉が見つからない。奥歯を噛（か）みしめた。」

（8 月 20 日の投稿）「朝鮮人だ！！　大阪駅で戦勝国となった朝鮮人の群衆が、列車に乗り込んでくる！」

「『俺たちは戦勝国民だ！敗戦国は出て行け！』圧倒的な威力と迫力。怒鳴りながら超満員の列車の窓という窓を叩（たた）き割っていく。そして、なんと座っていた先客を放り出し、割れた窓から仲間の全員がなだれ込んできた！」

「あまりのやるせなさに、涙が止まらない。負けた復員兵は同じ日本人を突き飛ばし、戦勝国民の一団は乗客を窓から放り投げた。誰も抵抗出来ない。悔しい…！」

このツイート（以下、「シュンのツイート」）に対する批判や抗議に対し､広島放送局は 8 月 24 日同局のホームページに「見解」を掲載した。その中で差別の助長・扇動という抗議に対し、「十分な説明なしに発信することで、（中略）配慮が不十分だった」「必要に応じて注釈をつける、出典を明らかにするなどの対応を取り、配慮に欠けたり、誤解が生じたりすることがないように」努めることを表明、「プロジェクトに参加している高校生など関係者のみなさん」には「ご迷惑をおかけしたことをおわびいたします」と述べた。結局、差別であることを認めず、「配慮不足による誤解」との見解に固執したまま、被差別当事者ではなく、身内の「高校生など関係者」には謝罪するという徹底的に内向きな姿勢を示した。

この後、10 月 2 日には問題のツイートをツイッターから削除し、ホームページに移した。その時に注釈をつけたが、それは朝鮮人が広島に多く存在し、原爆被害に遭ったということだけだった。「シュンのツイート」の差別性には一切触れず、それに蓋をしたまま朝鮮人被爆者の問題にすり替えてしまった。そして､12 月 25 日総合チャンネルの番組｢ラウンドちゅうごく｣で広島放送局が制作した「１９４５ひろしまタイムライン戦後編」を放送し、「タイムライン」差別問題の幕引きを図ろうとした。この番組の後半、在日コリアン被爆者が自らの被爆体験やライフストーリー、そして日本社会の差別について語る映像を流したのである。それは植民地支配の時代から被爆体験を経て、戦後を生き抜いてきた一人の在日コリアンの語りとして意義深いものだった。しかし、そのことと広島放送局が自らの引き起こした差別問題とは次元の異なる問題である。「シュンのツイート」の何が問題で、どこが差別だったのかを明らかにするべきだった。そうした検証作業を一切せず、在日コリアン被爆者を前面に出し、自らの問題を隠蔽した上で、被差別の側に寄り添うイメージを発信することは、被差別当事者を利用して自らの責任を放棄するという姑息で差別的なやり方だった。結局、広島放送局は被差別当事者への謝罪や差別問題への真摯な

対応を一切しないまま、12 月末をもって「タイムライン」を終わらせてしまった。

差別の助長・扇動

では、「シュンのツイート」が引き起こした差別の助長・扇動とは何だったのか。具体的な事例を見てみよう。以下はツイッターでの「シュンのツイート」に関わるリプライである。

- これを見ろ朝鮮人共、これがお前らの先祖の姿だぞ。被害者面してんじゃねえぞ！
- 朝鮮人＝野蛮人　シュンくん早く逃げて
- 朝鮮人ってこの頃から土人（ママ）（注 1）だったんですね。勉強になります。
- 鮮人（ママ）（注 2）と、かかわったらダメですね、今も昔も。
- 今も昔も民度の低さは変わらないのね（笑）第三国（ママ）（注 3）がなぜ戦勝国（(≧∇≦)）
- これが朝鮮人の本当の姿なのでしょう。この呟きを批判する奴は頭がおかしい。
- 朝鮮人には悪い人が多く、日本は悩まされてきた事がわかりますね。自分の意志で日本に来ていて、国に帰るよう促しても帰らない。一旦帰ったとしてもやっぱり日本が良くて密入国。昔から犯罪する人が多い（もちろんいい人も多くいると思います）
- 朝鮮人は朝鮮半島から出るべきでは無いです。臭いです。

（注1・2 はいずれも差別語。注 3 は戦後、朝鮮人の蔑称として使用された差別語「第三国人」を意識して使用していると考えられる。）

取り上げたのは一部に過ぎない。それにしても法務省がヘイトスピーチとして例示している「特定の国や地域の出身である人を，著しく見下すような内容」そのものだ。さらに言えば、「民度の低さ」は現職の財務大臣・麻生太郎の問題発言、「第三国人」は石原慎太郎元東京都知事が繰り返した差別語である。これらを読んだだけでも「シュンのツイート」が差別を助長・扇動、つまり差別の原因を作ったことは明らかだ。にもかかわらず、広島放送局は差別ではなく「誤解」だと強弁する。マッチに火をつけて放置し山火事を起こしておいて、山火事の責任を問われ、「マッチに火はつけたが山には火をつけていない」と言っているに等しい。さらに、消火活動をしようとする人々まで火事に巻き込んでしまう。この問題で民団広島県本部が広島法務局に人権救済申立をしたというニュース（共同通信配信）が流れると次のようなツイートが投稿された。

- ネコ動画は岩合光昭にまかせて、不貞外国人から日本を守るために自警団を組織しましょう！
- 韓に対しては、頭を下げる必要など全くない。言うべきことは、しっかり言うべきだ。常識を理解できない愚かな国？には、鉄槌が必要。まともに、応える必要などありせん（ママ）。

これもまたほんの一部である。しかし、「不貞」は戦前の「不逞」に重なる。自警団は朝鮮人を虐殺した日本の民衆であり、「虐殺」のメタファーだ。「鉄槌が必要」も同様である。いずれも法務省のいうヘイトスピーチそのもの、実行されればヘイトクライムだ。ただの言葉遊びではない。現実にヘイトスピーチの標的となり、脅迫状やカミソリを送り付けられ、身の危険を感じている在日コリアンがいることを忘れてはならない。問題は深刻だ。にもかかわらず、広島放送局が自らの非を認め、それを発信しなければ、差別リプライや差別ツイートにお墨付きを与えることになる。トランプ前大統領が極右グループ「プラウドボーイズ」に対して「stand back（下がって）,stand by（待て）」と発言したよりもさらに強いメッセージを発信することになる。広島放送局の罪と責任は極めて重く、大きい。

おわりに―「差別する側の論理」

最後にマイクロアグレッションという概念を補助線に問題解決の困難さに触れておきたい。マイクロアグレッションとは無意識の偏見や差別的言動をさす。例えば、民族名を名のる在日コリアンに「日本語うまいですね！」と言う。女性の社長に「あなたの上司はどこ？」と聞く、といった類の言動である。こうしたマイクロアグレッションはマジョリティによるマイノリティへの差別が構造化している社会では日常的に起こる。なぜなら、マジョリティにとっての当たり前がしばしばマイノリティの不利益や不当な扱い、つまり差別につながるからである。このマジョリティにとっての当たり前、これが「差別する側の論理」である。

日本社会は差別構造を持っている。故にこの社会でマジョリティとして育てられると「差別する側の論理」を内面化する。そして、それは当たり前となり、時にマイクロアグレッションとして現象化する。「シュンのツイート」が一見、当時の一場面を客観的に切り取ったかのように見えて、そこにこの社会の差別構造を重ねてみれば、「差別する側の論理」によって特定の事象を解釈していることがわかる。さらに、その点を指摘されるとマジョリティである広島放送局には事実の解釈という当たり前のことの何が問題なのかが理解できない。いや、理解しようとしない。ただ、組織に属する個人の中には理解した人もいたかもしれない。しかし、組織総体としては「差別する側の論理」から脱することができない。それは、差別と認めれば、マジョリティの底流にある草の根右派や一部の差別主義者が黙ってはいないし、マジョリティが反発すると危惧したからではないか。いずれにしても広島放送局を含めた NHK 総体が、人権尊重という世界の流れではなく、日本社会のマジョリティだけをみているとすればそれは由々しき事態だと私は危惧する。

高校新科目「歴史総合」で「慰安婦」記述はどう変えられたか

岸　直人（教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま事務局）

１．植民地支配による加害の歴史と人権意識をめぐる世界の変化

今年の四月、維新の会の「･･･政府として『従軍慰安婦』や『いわゆる従軍慰安婦』との表現を用いることは不適切ではないか（ 要旨 ）」との質問に対して、菅内閣は「単に『慰安婦』という語を用いることが望ましい」と、これまでの政府の姿勢を反故にする答弁書を出した。さらに萩生田文科大臣は、教科書の「慰安婦」記述を修正させるような圧力を出版社にかけた。これらの策動は過去の政府の姿勢と矛盾し、歴史を大きく歪曲しようとするものである。

世界に目を向ければ、「被害者の救済」のために、裁判などで植民地支配下での強制労働や政治弾圧の不正義が認められ、被害者への謝罪と補償・賠償の動きが進んでいる。

例えば、今年になって世界に伝えられたニュースを挙げてみよう。

- 『バイデン氏、100 年前のタルサ虐殺を追悼　米大統領として初 (2021 年 6 月 2 日 BBC ニュース)』バイデン大統領は 5 月 31 日に、「アメリカの同胞の皆さん、これは暴動ではなかった。これは虐殺だった。しかも私たちの歴史の中で特にひどい虐殺のひとつだった。しかしひどい虐殺はこれだけではなかった」と、タルサの悲劇を振り返り追悼するよう、国民に訴えた。
- 『カナダ先住民の同化教育の実態に関する「歴史的」報告書、カナダの和解を呼びかけ (2015 月 07 月 06 日 CBC ニュース)』120 年以上にわたってカナダの先住民の子どもたちがカナダ政府の同化政策によって差別や虐待を受けてきた事実に関する報告書が 6 月初めに出された。カナダのマスコミはこの報告書を「歴史的文書」で、「和解へのロードマップ」(「グローブ・アンド・メール」6 月 2 日) だとして大きく報道した。
- 『アムステルダム市長、奴隷制を謝罪　植民地の議論活発化―オランダ (2021 年 07 月 02 日)JIJI.COM』
- 『ドイツ政府　植民地だったナミビアでの虐殺行為を認めて謝罪 (2021 年 5 月 29 日)NHK ニュース』
- 『アフリカから略奪した文化財を返還へ　欧州で進む議論と課題 (2021 年 5 月 15 日)NewSphere』

国家が植民地支配の責任を含め、過去の加害の事実を反省することが重要だ (2001 年「ダーバン宣言」) という認識が広がり、過去の植民地支配は不法性・不当性があるとの認識が国際的に共有され加害の追及が加速している。

しかし、安倍前内閣と菅内閣は、日本軍「慰安婦」問題で「性奴隷」と言われる残酷な歴史的事実があったことを認めず、「解決済み」として被害者の救済努力をしていないのである。

いや、それだけでなく河野談話「・・・われわれはこのような歴史の真実を回避することなく、むしろこれを歴史の教訓として直視していきたい。われわれは、歴史研究、歴史教育を通じて、このような問題を永く記憶にとどめ、同じ過ちを決して繰り返さないという固い決意を改めて表明する。」に逆行して、高校教科書検定では歴史総合教科書の「慰安婦」記述を削除し、「解決済み」との政府見解を書き加えさせていることが当会の調査で明らかになった。

私たちはこの事実を多くの人に考えてもらうことで、歴史教育を政府の支配から取り戻し、教育を通して「慰安婦」問題が真の解決に向けて少しでも進むことを期待している。

２．歴史総合の教科書に「慰安婦」はどのように記述されているか

12 冊の歴史総合教科書のうち「慰安婦」関係記述があるのは 9 冊であり、(帝国、明成社、山川「わたしたちの歴史」には「慰安婦」の記述がない。) それらに、どのように記述されているか以下紹介する。

第一学習「歴史総合」「新歴史総合」本文
多くの女性が慰安婦として戦地に送られたりした。

東京書籍「歴史総合」本文　各地に慰安所が置かれ，日本人や植民地および占領下の人々が慰安婦として従軍させられ，多くの女性の人権がふみにじられた。

東京書籍「新選歴史総合」本文と（注）　戦時下では，慰安所が各地に置かれ、多くの女性の人権がふみにじられた。
（注）日本人や日本の植民地支配下，日本の占領下に置かれた多くの人々が慰安婦として従軍させられた。

清水書院「私たちの歴史総合」資料　政府間以外の主な戦後補償　1992　釜山従軍慰安婦・女子挺　身隊公式謝罪請求事件　一審一部認容、2003 年最高裁棄却
1999　台湾人元「慰安婦」損害賠償・謝罪請求訴訟　2005 年最高裁棄却

実教出版「詳述歴史総合」「歴史総合」特設ページ
沖縄戦には　約1～2 万の朝鮮人軍夫が動員され
130 か所の軍慰安所では，　少なくとも 160 人の朝鮮人「慰安婦」がいたとされる。

３．検定は「慰安婦」記述をどう修正させたか

上記の記述以外に、東京書籍２種、実教出版１種の「慰安婦」記述が検定によって次のように修正させられていた。

（１）東京書籍「歴史総合」「新選歴史総合」コラムの検討
※検定により［――］は削除され、［＿＿］は加筆された記述。
※東京書籍のこの２種の教科書の同様の記述内容について一括して検討する。

「韓国などには経済協力の形態で補償を行った。」ことを記述した後に、「<u>日本政府はこれらの条約で補償問題は個人への補償をふくみ解決済みとしている。</u>」を加筆させている。その後に「1980 年代以降・・・個人から国家（日本）、企業などへの請求権が生じ・・・日本の裁判所は・・・個人賠償請求権は残されているとの判断を示し」「・・・朝鮮半島や台湾の人々への部分的補償」「慰安婦について・・・アジア女性基金が部分的に補償」を行ったことが書かれている。

〈検討①〉検定は日本政府の「補償問題は解決済み」という見解を強引に加筆させて、「慰安婦」問題もその中に含めて解決済みにしようとする政府の意向が読み取れる。

慰安婦についても民間機関のアジア女性基金が~~民間機関として韓国、オランダなどの慰安婦に対して~~部分的に補償を行った。

〈検討②〉検定はとりわけオランダの慰安婦を教科書に書かせない修正を加えた。その理由は、オランダ人女性を日本軍が強制連行して慰安婦にしたスマラン事件は、BC 級戦犯裁判、オランダ政府報告書で日本軍の強制性が確認された事件だから、日本軍の関与を否定している日本政府が最も生徒に知らせたくない不都合な事実だからである。

~~歴史問題の完全な解決は難しい。だが~~, 戦後補償問題には個々の国や社会の情勢などの複雑な背景があるが、昨今では，かつて戦争や植民地支配で敵対した人々同士の「和解」をめぐる試みが多くみられる。

〈検討③〉かつての日本による植民地支配と被支配者の間にある大きな「歴史問題」を「戦後補償問題」に矮小化して、他国の人ごとのような記述に書き換えている。しかも、ダーバン宣言を出発点として、過去の植民地支配による人権侵害に対する補償と賠償による被害者の救済の取り組みが加速していることを鑑みれば、「多く」を削除して「和解をめぐる試み」を過小評価したことは生徒の国際理解、認識を育てない不当な修正である。

賠償や補償をめぐる問題は，被害者の感情や個々の国や地域内部の歴史認識問題にもかかわり、~~完全な決着を見出すのは難しい。~~また問題の背景には個人の歴史認識もある。
昨今では、かつて戦争や植民地支配をめぐって敵対した人々同士の「和解」をめぐる議論が世界的にさかんであり，日本も世界標準にもとづいた対応も合わせて求められている。

〈検討④〉東書は植民地支配の賠償・補償は完全な決着は難しい、しかし、昨今さかんな世界標準の「和解」の議論を進めるべきだ、との意見を示している。検定は、東書の意見の腰を折るように、賠償・補償 が整理できない原因を「個人の歴史認識」にねじ曲げ、敵対した人々同士の議論に後ろ向きの見解を書かせている。この後ろ向きの政府の姿勢が「世界標準」を受け入れない原因であるといえる。

（2）実教出版「詳述歴史総合」特設ページの検討

いわゆる「従軍慰安婦」など、政府は解決済みとしているが、問題は多い。

〈検討⑤〉①で検討したように政府は日韓請求権協定で「解決済み」の姿勢を高校生に教えるというよりも「刷り込む」ことをめざして修正させているが、実教出版は「解決済み」を入れたが続けて「問題は多い」と編集者の意見を明示しているところに実教出版の検定に対する抵抗の姿勢を見ることができる。

4．消されなかった清水書院の「オランダ」

清水書院「私たちの歴史総合」資料

アジア女性基金の事業について
・・・アジア女性基金は、いわゆる従軍慰安婦問題に関して、道義的な責任を痛感した政府の決定に基づき、政府と国民が協力して元慰安婦の方々に国民的な償いの気もちを表すための事業を推進することを目的に、1995 年 7 月に発足しました・・・オランダにおいては，慰安所又は同等の場所で性的奉仕を強いられた方々に対し医療・福祉分野の財・サービスの提供を行う事業を実施しました。・・・ （外務省，2001 年）

〈検討⑥〉②で検定は「オランダの慰安婦」を削除させた。しかし、清水書院の外務省 HP からの資料に対して「オランダ」があるにもかかわらず検定意見がついていない。
それは、なにより出典が「外務省」であるからオランダを消すことができなかったのであろう。しかし、「オランダ」の記述を手掛かりにしてなぜオランダなのか、被害者はどんな仕打ちを受けたのか、日本軍の行った強制、関与の事実を学ぶことができる。

5．山川出版の記述

（1）主語「日本軍」をぼかした記述

山川出版「歴史総合　近代から現代へ」（注）

（注）各地の戦場では、慰安所が設けられ、日本や朝鮮、台湾、占領地の女性が慰安婦として集められた。強制されたり、だまされて連行された例もある。

〈検討⑦〉 だれが慰安所を設け、だれが女性を集め、だれが強制して、だれがだましたのか、主語が書かれていない。主語を「日本軍」としていたならば検定修正が行われた可能性がある。主語を考えさせることが、事実に基づき多面的、多角的な理解を深める学習につながるのである。

（2）主語「日本軍」は書いたが「慰安婦」をぼかした記述

山川出版「現代の歴史総合」本文

日本軍は戦地に兵士の慰安施設を設け、朝鮮・台湾や中国・東南アジアの占領地からも女性を集めて働かせた。

〈検討⑧〉日本軍が慰安施設を設け、女性を集めた、と主語「日本軍」が書かれているが、その女性が「慰安婦」であるとは書かれていないし、性的な奉仕をさせたことも書かれていない。しかし、行間を読み、論理的に考えれば、日本軍が女性を集めて「慰安婦」として働かせたことに結びつく構成である。巧妙に検定修正を逃れているのである。歴史資料を使い、行間の事実を理解し、考える学習が可能である。

公共教科書

歴史総合教科書

金学順（キム・ハクスン）さんと出会っていますか

岡原美知子（日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク事務局長）

1991年8月14日は、韓国の金学順（以後学順）さんが「私が『慰安婦』だった」と名乗り出、韓国をはじめ世界に衝撃を与えた日。その日から 30 年が経過したが、被害者が受け入れられる解決が実現できていない。

私が『慰安婦』だったと
名乗り出た金学順さん

30 年の節目の今年は様々な団体がイベントや特集を組んだ。6 月末、渡辺美奈さん（アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam) 館長）から、「金学順さんが日本で講演した最後の地は広島のようですが詳しいことを知りませんか」と問い合わせがあり、方々の知人に尋ねた結果判明。それは、1996 年 6 月 29 日、広島県高等学校教職員組合女性部主催の「戦後補償問題を考える」会だった。証言記録もあり高教組からいただいたが、我が家の書架にもあった。私自身は学順さんに直接会ったことはないが、この 30 年幾度彼女の名前を聞いたことだろう。今年は改めて学順さんに出会う機会に度々巡り合えた。多くの人にも再度出会い恨を感じてほしい。

学順さんは、名乗り出たきっかけについて「日本政府が『慰安婦』を連れ歩いたのは民間業者だと言っているというニュースを聞いて、私がここで生きているのに、何でこんなことを言うのか、日本の政府はウソを言っていると思いました。私はそれを許すことができませんでした。私はとにかく日本政府に事実を認めさせなければいけないと思い届を出しました。私はこの時、朝鮮を植民地として支配し、日本が起こした戦争に朝鮮人を引っ張っていき巻き込んでおきながら、その責任をとらないということは、私は許されないと思いました」と日本政府への怒りを表明した。

91 年 8 月 14 日、最初の単独インタビューは北海道新聞社ソウル駐在の喜多義憲記者が行った。1991 年は太平洋戦争開戦 50 年、喜多さんは韓国挺身隊問題対策協議会（以後挺対協）の尹貞玉代表に会い取材を申し込んだ。13 日に尹代表から被害者が会うと連絡があり決まった。今年 8 月 7 日植村裁判を支える市民の会主催「金学順さんカミングアウトから 30 年・記念イベント」[1] の集会で経過を語った。なぜ日本の新聞社のインタビューに最初に応じたのか。喜多さんは加害国である日本人にまず伝えたかったのではないか、言わないで死ぬことはできない、心の中に冷たく積もった恨が爆発した、それにつきると語った。北海道新聞はスクープになったわけだが、その後喜多さん自身がもう一度記事を書いたが徹底した続報を書いていない。それは、この「慰安婦」問題と向き合う覚悟がなかったと痛恨の反省の弁があった。今、日本のメディアは学順さんの恨を受け取めることができているだろうか。

その 3 日前、8 月 11 日付の朝日新聞で植村隆さんが「元朝鮮人従軍慰安婦が戦後半世紀を経て重い口を開いた」と挺対協が録音したテープを聞いて記事を書いている。この時学順さんは名前を伏せていた。8 月 14 日には植村さんは大阪に戻っていた。この時の記事を 23 年後西岡力や櫻井よしこが「捏造」とバッシングをするようになるとは予期せぬことであった。

北海道新聞の単独インタビュー後の記者会見は韓国で大きく報じられ、家父長制思想の下、「慰安婦」にされた事実を語ることができなかった女性たちはその重い口を開き、次々と声を挙げ始めた。まさに＃MeToo の始まりであった。解放後冷戦の影響を受けた朝鮮は二つの国に分断され、朝鮮戦争による半島の荒廃、長い軍事政権が続き声を挙げることは民主化の実現まで待たなければならなかった。民主化闘争の中で女性たちの人権を訴える運動も高まりを見せていった。尹貞玉梨花女子大学教授は自分自身が「慰安婦」にされていたかもしれないと同世代の被害者のことを若い時から調査した。民主化闘争の中で女性への性拷問や日本からの「キーセン (＝買春）観光」を女性たちが問題視し、植民地時代の「慰安婦」問題の解決こそ重要と挺対協が 1990 年に結成され、被害者を支える態勢も整ってきていた。

学順さんは、1922 年 [2](生年は裁判で証言した年とした。歳も韓国では数え年で表すことが多く資料によっては異なることがある) 中国東北部吉林省生まれ。生後間もなく独立運動家の父が死に、母と平壌に戻った。貧しくて学校に行けなかったが、母が通っていた教会の学校に 4 年間通った。14 歳の時母が再婚。新しい父になじめず、妓生学校に行かせてくれる家の養女になった。この時、養父から母が 40 円を受領した。[3] これが身売りの根拠とされたりするが、当時の身売りの「前借金」としてはあまりにも少額である。朝鮮における前借金の相場は 1920 年代後半でも、日本女性は約 1700 円、朝鮮女性は約 420 円となっていて、身売りとは考えにくい。妓生は朝鮮王朝時代に官妓として公的儀式や官庁の宴席で歌舞音曲を提供する女性を指す。学校では、歌、パンソリ、踊り、時詩、器楽などを習い、とりわけ平壌の妓生学校は大変有名で入学試験も卒業試験もあった。3 年間で卒業した学順さんは、「妓生は非常に誇り高い存在だった」と証言している。卒業時は 17 歳で、19 歳にならないと仕事ができないので、養父ともう一人いた養女と仕事を求めて中国に向かった。

北京について日本軍に見つかり、「朝鮮人だろう」と言われ、養父はどこかに連れていかれ、二人は軍用トラックに乗せられて 1 日半かけて「鉄壁鎮」の慰安所に連れていかれた。夜、養父をどこかに連れて行った将校に「服を脱げ」と言われ抵抗すると殴

られ服と母から別れにもらった黄色いセーターもボロボロに引き裂かれ強かんされた。その慰安所には 3 人の朝鮮人女性がいて、学順さんは「アイコ」と日本名を付けられ、5 人で日本兵の性暴力を受ける日々が続いた。抵抗すれば殴られ、部隊が移動すれば共に移動する。4 か月ぐらいたち病気にもなり、何とかここから逃げ出さなければと思っていたところ、戦闘で日本兵が出かけている夜にやってきた朝鮮人男性に「どこかで捨ててもいいから連れて逃げて行ってほしい」と懇願し脱出できた。

その朝鮮人と中国内を転々とし妻の役割もするようになり、19歳の時に妊娠。上海に住み娘を出産。解放の年に息子を出産。46 年に船で仁川に帰国。ソウルの収容所で 4 歳の娘がコレラで死に朝鮮戦争の最中夫も事故で死んだ。その後息子も水死。一人になった学順さんは自殺未遂もし自暴自棄の生活を 20 年ほど過ごすが、これではいけないと住み込みの家政婦の仕事を 1987 年までして貯めたお金で部屋を借りて一人暮らしを始めた。新聞を読むのが日課だった。日本の国会答弁を知り、腹が煮えくり返るように感じて自分の胸の中にある恨を解きほぐしたいと思った。近くに住む在韓被爆者の李孟姫（イ・メンヒ）さんに相談し 91 年 7 月共に挺対協を訪ねた。

学順さんは、その後、太平洋戦争犠牲者遺族会が日本政府を相手に準備していた訴訟に原告として参加。原告は、太平洋戦争中の強制動員犠牲者の元軍人、軍属やその遺族と日本軍「慰安婦」被害者であり、91 年 12 月 6 日に東京地裁に提訴した。

学順さんは分かっているだけで 10 回来日し、その都度精力的に裁判、証言集会、国会前での座り込み、ハンスト、デモなどに各地で参加した。

遺族会の活動をしていた李熙子（イ・ヒジャ）さんが学順さんのことを wam だより [4] に書いている。彼女は、寡黙で誰とでも親しくする人ではなかった。それは平坦ではなかった人生が作り上げた姿なのだろう。提訴の前の晩同じ部屋に泊まったが、なかなか寝付けない夜を過ごし、翌日の記者会見に臨んだ。大勢のメディアの前で自分に向けられた視線から目をそらさず、まっすぐ前を向いた目から涙が一筋流れ、発した最初の一言は「私の青春を返せ」だった。94 年の本人尋問では、「恥ずかしいのは『慰安婦』であった私ではなく、過ちをきちんと認めず謝罪もしない日本政府だ」「大事なのはお金ではなく、日本政府の事実認定と公式謝罪」と強調した。裁判にかける強い決意の表れだった。

象徴的な存在だった学順さんは日本の日本軍「慰安婦」否定派からのバッシングを受け続けた。養父が中国で学順さんを売ったとも言われるが、学順さんは一度も売られたとは言っていない。妓生学校に通ったことも「妓生＝売春婦」と揶揄されている。戦争で夢をくじかれ誇り高い職業につけなかったことはきっと無念だったに違いない。

植村隆さんが書いた「慰安婦」の記事 (94.8.11 付朝日新聞) を「捏造」と西岡力元東京基督教大学教授や櫻井よしこから決めつけられ、名誉棄損として札幌・東京地裁に提訴した裁判。匿名だが学順さんと朝日新聞元記者の植村さんが『標的』とされたバッシングだ。詳細な裁判経過 1 は紙面の関係で触れないが、櫻井よしこが「慰安婦」の取材をしていないこと、また植村さんへの取材の申し込みすらしていないことが明らかになり、櫻井には資料の誤読や曲解もあった。西岡は著作の中でハンギョレ新聞の記事を捏造し引用していた。裁判でそのことを明らかにし、反対尋問で本人たちに認めさせた。捏造したのは二人の方だ。しかし、裁判で名誉棄損は認められなかった。裁判所が「真実相当性」を認めて免責した。裁判所のハードルが低くなったのだ。許されない。法の番人として被害者中心主義、人権尊重の柱を司法に求めたい。

8 月 10 日、韓国のテレビ局 MBC の報道番組『PD 手帳』で、韓国の情報機関である国家情報院の元職員が、国情院と櫻井よしこが理事長を務める極右シンクタンク「国家基本問題研究所」との癒着を告発した。この続報に注目したい。

1996 年、広島県高教組女性部の集会

日本での最後の証言集会となった広島 [5] で、国民基金を批判しお金のためにやっているのではないと言い、「植民地支配のもとで名前も姓も奪われ、38 度線によって分断され故郷を失った。戦争は悲惨だ。戦争のために広島も多くの人たちが被害を受けた。何もいいことはない。戦争を起こさないように皆さん頑張ってほしい」と締めくくっている。この遺言に応えねばならない。

学順さんは判決を待たずに、持病の肺の病気の悪化などで入退院を繰り返し、1997 年 12 月 16 日に 75 歳で亡くなった。靖国神社に合祀された李熙子さんの墓碑銘のない父親の墓のそばに親しかった黄錦周（ファン・クムジュ）さんと共に望郷の丘に今は眠る。

歴史の記憶の抹殺に抗い、日本政府による事実認定と心からの謝罪、次世代への記憶の継承を勝ち取り、学順さんや被害女性たちの尊厳の回復を果たすことが求められている。

1 植村裁判を支える市民の会 HP
2 週刊金曜日 2021/8/13　8/6　合併号　1340 号
3Q＆A 朝鮮人「慰安婦」と植民地支配責任（日本軍「慰安婦」問題 web サイト制作委員会編金富子　板垣竜太責任編集）
4 wam だより vol.48（2021 年 7 月）
5 戦後補償問題を考える―証言―●元「軍隊慰安婦」●アジア太平洋戦争の遺族　（広島県高等学校教職員組合女性部）

8.6 新聞意見広告を見てくださった購読者からのメッセージ

今年の 8.6 新聞意見広告も、購読されている方々の半数以上がみてくださったようだ。8 月 6 日の意味、この日に掲載した意義、大きな数字について、デザインについてなどお寄せくださり、4000 を超える名前の重みも感じてくださっている。「第九条の会ヒロシマ」を知っていると書かれた方が増えたのは、続けてきたためだろうか。また嬉しいのは、紙面を見てご自分の思いを短くも長くも綴られていること。あらためて関わってくださった皆さんに感謝!!

近畿圏から

・日本が忘れてはならない戦争や平和を維持するために作られた憲法９条について今一度考え、二度とこのような惨劇を繰り返してはならないと思わせる広告であると思う。男性 29 歳以下
・数字が大きく並んでいて、すごく想像力がわいた。答を見て改めて大事なことだと感じた。非常にわかりやすくセンスがある。男性 29 歳以下
・二度とこのような悲劇があってはならない　男性 30 代
・憲法第九条の「日本が戦争を放棄し戦力を保持しないこと」には大賛成です。原爆記念日の日のこの広告で、皆が改めてそのことを再認識することは大事です。男性 30 代
・広告を機に原爆や憲法九条を考えてみようと思った。　男性 30 代
・今後もこのような広告が必要だと感じました。男性 50 代
・８月６日だけではなく、本来は毎日　ヒロシマーナガサキから核兵器のコトを考えたい。男性 50 代
・大切なことだが、悲しい気持ちにもなってしまう。男性 50 代
・「no more nukes」を全世界の人々に広げてほしい！男性 60 代
・高度経済成長期やバブル期は原発のことを深く考えずに来てしまったが、チェルノブイリや福島の事故で、特に地震をはじめ多くの災害を抱える日本で原発は馴染まない。出来るだけ早く無くしていく必要があり、戦争は勿論、会の活動を応援したい。男性 60 代
・この 4 行の数字をみてどれだけの人がその意味をぱっと分かるでしょうか。戦争の悲惨さ・記憶がどんどん風化していく中とても大切なことだと思います。この事実を私たちは厳粛に受け止め後世にうけつがなければならない。そう思わせる広告でした。とても大切で意義ある広告だと思います。男性 60 代
・戦争をしなければ貧困で失われる命が減らせるのに、なぜ、殺しをやめない人間がなくならないのか。しかし平和のためにどうすればいいのか・・　答えが見つからない。男性 60 代
・こんな広告は大事だと思う。ヒロシマ・ナガサキ・フクシマのことは我々が忘れてはならないこと。第 9 条を守り抜くことも大事だと思った。男性60 代
・核とか平和に対する意識が、自分はまだまだ低いと感じ取らせてくれました。女性 29 歳以下
・戦争は絶対にしてはいけないし、きちっと日本の過ちをみんながしっかり理解しないといけない。女性 30 代
・数字が分かりやすく、戦争について子どもたちに考えさせる良い機会になると思いました。女性 40 代
・改めて原爆の恐ろしさ、忘れてはならない歴史的事実であることを感じました。戦後 76 年が過ぎ、戦争体験者が少なくなる現在、あの悲劇を決して忘れず後世に伝えていく義務を痛感しています。多くの人がこの広告を見て原爆の悲惨さを思い出すきっかけになってくれることを切に願います。女性 40 代
・広島のことが風化しているような気がするので、8 月 6 日、こういった広告を出すことに意義があると考える。今年は特に五輪で原爆のテレビ番組が少ないように感じた。女性 40 代
・8 月 6 日より前から取り上げていただきたい。　女性 40 代
・広島に原爆がおとされた当日のこの広告はタイミングが良い。菅総理は今日の演説で原稿をとばしてしまいました。最近の世の中には恐怖を感じます。私達は平和を望みます。しかし、戦争にむかっているような気がしてなりません。政府は弱者には優しくありません。沖縄にも、広島や長崎、貧しく、弱い我々にも。武器を作ったり、輸出したり。自衛隊を海外に派遣したり。政治家は国民に目を向けてくれているのかどうかも疑問です。自分たちのことしか考えてないのでは。都合の悪いことは隠し、国会でも、質問に真摯に答えない。理不尽な世の中。みんな、わかってると思います。言ったもの勝ちではあかんと思います。人の話も聞き、議論することも必要です。子や孫に良い社会を残したい。女性 50 代
・実際に氏名を出してリアリティがあると思います、女性 50 代
・世界中から戦争がなくなるよう、ずっと続けていかなければならない活動だと思う。女性 50 代
・大切な事なので繰り返し示す事に意味があると思う。女性 50 代
・共感できる広告です。今回初めて目にしたので、通年、もっともっと広告を出して発信していってほしいです。女性 50 代
・忘れてはいけないものを、この会があることで思い出す。いいことだとおもう 女性 50 代
・この時代、実名を出して意見を言うのは勇気がいる。出る杭を打つことだけに熱心な人たちの心にも響くとよいが。女性 50 代
・この広告の出し方と記載された名前の意味、行動にうつされている方たちは立派です　　女性 50 代
・no nukes の世界になって欲しい限りです。何のための核か誰のための核かを考えると人間は本当に愚かである。核を持っても勝者はいないと思う。　　女性 60 代
・原子力に頼らず、核燃料を使わない世界に。女性 60 代
・賛同します。核との共存を望まないことは国民が共有しなければならない事実であり、発信し続けねばならないと思う。活動を続けることは大切。女性 60 代

首都圏から

・戦争反対や憲法を擁護するメッセージはわかる。多少過激な感じがするが、戦争と平和を考えることはいいと思う。男性 29 歳以下
・世界的に核兵器の廃絶が進まず、日本政府も唯一の被爆国でありながらも核兵器禁止条約に調印しようとしない今、絶対に必

要な意見広告である。　男性 30 代
・私は政治的には中道よりわずかに左に寄った微リベラルであり、反戦派、反核兵器派、護憲派です。今秋の衆院選では立民・共産が政権を取れればいいと思っており必ず投票します。男性 30 代

・寄付をさせて頂きました！これからも応援します。男性 30 代
・昭和天皇の「原子爆弾は仕方なかった」発言を地上波放送して欲しい。男性 30 代
・8 月 6 日に広島に原爆が落とされたことを思い出しますね。また、第九条の会ヒロシマの地道な活動は応援していきたい。男性 30 代
・憲法を大切にすることや平和を願うことはとても大事なこと。とても共感できる広告だと思う。男性 40 代
・毎年この時期に『意見広告』が掲載される印象がある。やはり被爆国として今後もこの歴史を受け継ぎ後世につないでいくことは重要な事だと感じている。一方デジタル化が進み新たな出来事も多く、日本の未来に向けた提案も必要であり、変化も重要だと思う。男性 50 代
・憲法についてはいろいろな考え方があるが、武器、兵器で一般の人が殺されるのは理不尽であることは疑いない。それを改めて感じさせる機会になる意義のある広告だと思う。男性 50 代
・原爆の被災者の数に驚きを感じ、憲法９条の重要性を再認識した。男性 60 代
・核兵器を持ちたい日本政府には煙たく、弾圧したいもののひとつ男性 60 代
・個人の力には限りがありますが、この運動に少しでも役立てることがあれば協力したいと思いました。男性 60 代
・日本にとって決して忘れてはならない 1945 年 8 月 6 日。被爆国の宰相の姿勢が口先だけの宣言になっているのが残念でたまらない。菅総理の宣言の読み飛ばし、読み間違い等々。全く開いた口が塞がらない。安倍政権下でもそうであったが真摯に受け止めていない広島・長崎を国民みんなの力でもう一度意識していただくためにも声高らかに活動することに期待。男性 60 代
・コロナとオリンピックで平和への関心がより薄れてしまうため、いい広告だと思います。　男性 60 代
・日本が核兵器禁止条約に参加できるかどうかは次の総選挙の結果次第かと。男性 60 代
・大事なフレーズをわざと読み飛ばす首相が居て、それが党首の与党は原爆を持ちたい。そんな国で、こういう意見広告が出せなくなることも近いのではないだろうか。男性 60 代
・自分が年齢を重ねていくにつれ 8 月 6 日と 9 日の重さが増してきています。しかし、若い人たちはこの広告を果たして見ているのでしょうか？おそらくスルーしているように思われます。すべての物事は忘れ去られてますが、それでもこうした広告で家での会話や友人との話題になればいいですね。男性 60 代
・唯一の被爆国として、核兵器禁止条約へ参加することが日本にとって最善の道だと思って、この広告に引かれた。男性 60 代
・1945 0806 0815 324129 no more nukes よくわかった。第九条の会ヒロシマのことは、はじめて知ったが、非常によい広告だと思った。男性 60 代
・主張していくことは大事だとは思った。ここからアメリカ許すまじとならないのが生ぬるいとは思う。後世にまで伝えるのならやられたことを世界に訴えることも必要だと思う。「原爆よくない」だけではなく、非人道的な行いに対する批判をして然るべきではと思った。女性 29 歳以下
・修学旅行で被爆者の方から体験談を伺ったことを思い出した。生き残り自分を責め続ける内容に言葉を失った。女性30 代
・原爆による被害を悼むだけでなく、そこに至る経緯に思いを致すことで現代にも平和を脅かす萌芽はたくさんあると気付かされる。そのことに改めて気づかせてくれる広告だ。女性 30 代
・意見と名前を連ねるだけが、核軍縮につながるものでしょうか。具体的な行動をとるべきではないでしょうか。女性 40 代
・九州では 8 月 9 日は必ず登校日でした。東京に来て、小学校の登校日がないことに驚きました。平和教育とかしないのかな、と少し不安になりました。女性 40 代
・広島だけでなく長崎や沖縄も、戦争によって長く苦しめられてきた。平和に生きる権利や人権は何よりも大切にされないといけない。憲法をやたら変えたがる人間がいる中、このように声を上げ続けることは本当に必要だと改めて感じた。女性 50 代
・シンプルな広告ながら訴えかけてくるものがあった。沢山の方の署名がびっしりと書かれた紙面に重みを感じた。女性 50 代
・第 9 条の会は何度となく広告で見た。平和な毎日を送れるのもこのような憲法がある事を忘れてはならないと思う。女性 60 代
・ヒロシマについては小さい頃から、よく話を聞いていたし、夏休み、祖母が連れて行ってくれた。従妹は気分が悪くなっていたが、私は目をかっぴらいて見なきゃいけないと思っていた。結構、いろいろな本を読んだと思う。アメリカに親戚もいることだし、向こうはどう考えているのだろうと思ったこともある。だが、大学時代、当時東京逓信病院長だった斎藤太郎先生の最初の講義で、自分が被爆者だということ、その当時爆心近くの研究所にいて、その瞬間､火に巻かれ、ようやく逃げ出せたものの奥にいた東京薬専の女性がおかあさ～んと呼んでいた声が聞こえたものの助け出すことも出来ず、そのまま広島湾の島で治療に従事させられたとのこと。そこには多くのけが人がいた。その一人がコレラらしいと軍医が言い出し、薬もなく、治療も出来ない、感染が蔓延したら大変だとその患者を殺すことにしたらしい。青酸カリを与え、次の日、行ってみたらその患者はニコニコしている。慌てた軍医は斎藤先生にお前、薬剤師だろう、青酸カリを与えて、死なない人間なんているのかと追及してきた。慌てた先生は、もしかしたら無酸症かも。青酸カリは胃内で胃酸により青酸が分離して等と言い、軍医の追及を逃れたそうだ。其のあともいくつか殺す方法を協議したらしい。結局血液中に汚水を注射して敗血症で死なせたらしい。先生はもしかしたら、青酸カリを取り換えたのは看護師さんだったのではと後年思い当たったそうだ。むしろ私はその時の医者たちの狂気を恐ろしいと感じた。動物実験をしていた時も、マウス同士で共食いをすることがあった。非常事態と称し、小さな枠の中に押し込められた強者が弱者の生命をいとも簡単に葬り去る。実際の戦闘以上に狂気が凶器になる恐ろしさを感じた。この一面広告は単なる数値ではない。多くの無辜の人達の涙や血

賛同してくださった皆さんからのメッセージ

（お名前アイウエオ順　敬称略）

藍原寛子　平和を護る　いのちを護る　憲法を護る
憲法九条は日本の宝
赤地徳広・緑・橙　私が生きている間に核兵器のない地球に！
赤松竜・江口直美　森瀧市郎先生の遺志を受け継ぎ、辺野古新基地建設に反対し、座り込みに合流します！！
秋山信孝・啓子　被爆者の子孫として非核の声をあげ続けます。
秋吉信幸　過ちを繰り返すな
浅井芳江・手塚文栄　戦争はこりごりです。
浅岡孝夫・喜美子　日本国憲法の平和主義は人類の希望です。
浅賀きみ江　ヒロシマ・長崎から世界へ平和の灯を。９条改憲許さない！
アズミヨウコ　平和を守るためともに進んでいきましょう！！
明日村希　戦争をなくして、生命を大切にする社会を！
安達幸夫・安達聖子　人殺しをしません。他国の人にも人殺しをさせません。当たり前の憲法の掟。
穴山順子　父（故人）はマルレの生き残りでした。
阿部純子　幼児：トマトとうたい（ちょうだい）母：後でね。幼児は爆死。
安部千穂・安部剛　戦争が終って 76 年、平和であることの有難さ、これが全世界に広がるように
阿部めぐみ　友人たちに呼びかけました。たくさん集まりますように！
阿部良之　無為、無策、無能な菅政権よさらば。次は活憲政権だ。
天辰哲也　偶発核戦争は、人類生物滅亡。核兵器廃絶！！
有田智樹　目を閉じ、口をつむげば、政府の思いのまま。
有田優子・壇上正光　今こそ世界に広げよう平和の翼
有馬保彦　軍隊は自国民も他国民も殺します。市民にいつも銃口が向けられます。自衛隊を解体しましょう。
池田雄二　憲法改悪断固反対、反戦、反核、反差別の意志を貫こう！
池田陽子　91 才で亡くなった母は最期まで「戦争はイヤだ」と言った。世界中の子どもたちがいつまでも平和でいられるように。
池田垣二郎　憲法９条は日本の宝世界の宝
池松綾子　第九条を実現しよう
石井喜美代・石井彰　平和憲法は地球を護るために何にも代え難い。
石井喜代子　戦争をする国に生まれたはずではないのだけれど
石黒康二　米軍との一体化は許されません。
石黒由佳　人を思いやる心からしか平和は紡げない。武力は不要
石田弥生　武力で平和は来ない。2021 年防衛予算 5 兆 3422 億円。後年度負担（ツケ払い）5 兆 5330 億円。
石田路津子　歴史はいま作られているという自覚
石原清美・西山明美　安倍政権の継続から目を離さないように。
石原清美・西山明美　改憲よりコロナ禍対策を優先させよ！
石渡秋　一人ひとりのいのちと平和を守る憲法は宝。世界に広げよう。
磯幸子　憲法を守り、いのちを守ろう
板井八重子　「ナチスの手口」をねらっている人々がいることを多くの人に知らせていきたい。わかりやすく。
板橋俊子　S.20.8.15 敗けてよかったが悪体質は抜けず正しい判断不能
伊藤新　憲法改悪に反対します。自民党案は認めません。
伊藤忠志　憲法に「不断の努力」を続ける人間でありたい。
伊藤正人・小原洋子　憲法を読んで、私たちは力をつけましょう。権力者は憲法を守りなさい。
伊藤眞理子　誓ったことばを忘れまい
伊藤深雪　憲法は、いのちの危機にある時にこそ、温かく見守り、あるべき未来を指し示してくれます。
伊藤元久・伊藤匡輝　解釈改憲も許すな！
伊藤素美　平和と人権を守る憲法を次の世代に！！
井上聖文・由美子　無能な政府は民衆の不幸だ！！
井上浩孝　自分のいのちもみんなのいのちも等しく守る国に生きたい
井上正弘　まだ見ぬ孫のためにも
井之浦一子　戦争への道筋になる憲法の改悪はしないで下さい .
井原俊博・美代子　日本国憲法第９条は世界で、日本唯一の誇り
井原誠　新憲法ができた当時の精神を大事にしよう。
井原誠　憲法９条は、現在も未来も大切にすべき内容です。
今川治　自由と人権を守るため、ガンバリましょうネ。
今野洋子　汚い手など使わずコツコツ、改憲手続き法改定に反対。
井村征　憲法改悪ストップ。
岩井仲一　乾電池だって＋と－が対立している。この対立エネルギーが役立っている。ショートさせてはいけない。
岩崎保則　金は天下の回りもの。法は天下の漬け物石。発酵させるは民次第。
岩澤正美　コロナのドサクサで改憲されないように皆で声をあげよう！
岩澤正美　改憲よりも、自分達の考え方を変える事の方が必要では。
岩下健一　コロナ禍でも活動をとだえさせず、今こそ憲法の精神を活かして守ろう人権、いのち、生活。
岩戸弘　もうぜったいに戦争をしてはだめなんです。
上杉まり子　オリンピック→改憲→戦争へつなげたい政治をやめさせるのが後世へ果たすべき我ら世代の役割だ。
植竹正義　75 年平和な国を維持した憲法の重みを再認識すべき！
上地信乃　きびしい時代です。のりきりましょう。お互いに
上野恵子　大河の一滴だとは思いますが、沈黙は加担と一緒と聞いたので、名前を公表することにしました。
上山耕平　「偏見・恐怖・無関心が人類最大の脅威」
鵜飼礼子・鵜飼真一郎　国民の命を守るのは軍事力ではなく、憲法に基づく日本独自の外交。
牛島忠夫　被爆車輛の運行は生きた証人の証言だ。世界遺産に！
牛島洋子　地球を大事にしないから、コロナは来たのです。
宇城順子　長年の取組み本当にご苦労様です。がんばりましょう。
臼井秀之　戦争法案反対
内山新吾　コロナだから風通しよくしよう　わが家もこの国も
梅田勇次・梅田由紀子　９条なくなればアメリカ大よろこびするだけ
江崎勝之　"ミャンマーの軍事政権消えろ消えろ！"
遠藤ヒサエ　困っている時、助けたり助けられたりが大切です。
大江宏　誰もが幸せを感じられる社会になってほしい。
大藏律子　奪わせない命と人権、守る憲法。
大越京子　武力で抑え込まないで！！
大島博美　世界に誇る平和憲法改悪阻止、核兵器禁止条約に即参加を！
大島　火事場泥棒は許さない！我が子は戦争にやらないぞ！！
太田廣　政権交代の可能性が出てきました。秋の総選挙に大いに期待。
大谷猛夫　もう、世界中から戦争で亡くなる人がでないように
大知輝夫・純子　戦争、原爆投下のこの日を忘れず憲法守れ、JAL 解雇 10 年撤回！
大塚愛　私たち一人ひとりがつくる平和、その道を歩いていこう
大戸敏行　高齢となり来年は？　でも頑張って下さい。
大西五己　軍拡よりもコロナ対策を！
大野てるよ　今の憲法は素晴らしい。『憲法改悪』絶対反対！！
大橋鉄雄　憲法は、みんなのものです。

大林トヨ子・大林稔　自由に生きる保証が憲法
大治朋子・大治浩之輔　憲法を守るべき人は権力者だ！
憲法で守られるのは国民。99 条！
大町宏志　母校が核ゴミ最終処分場文献調査開始で廃校の危機か？
岡稔彦　子どもたちの平和な未来のために
小笠原靖・潤子　権力をしばる憲法を権力が変えてどうするの
岡田知子・英樹　憲法は権力をしばるもの、ゆるがせてはならない。
岡田黎子　人類の存続は、九条に委ねられる。
岡部健一　国民のための憲法を守ろう！
岡本剛　自由にものが言える社会を守りつづけるそれが平和な国
岡元正実・岡元萌樹　どんな命もその命を生きぬけるように！！
小川家子　コロナにまぎれて憲法論議進めるな！
憲法改悪 No、九条を守ろう。
小河義伸　世界の核が、すべてなくなりますように。
沖淮子　子どもは国の宝！！贈る物は永久の平和！！
奥井健二　先人の苦悩知らずに戦争のハードル下げる改憲の道
奥下厚子　武器を持つ人間は、地球上で最も愚かな動物である。
奥田剛・奥田みどり・悠・慧　みんなが輝ける未来を目指し、
守ろう命と人権、繋ごう平和と憲法
小黒章司　米中の対話と交渉を実らせる外交努力。それこそ９条の心
押部禎一　改憲不要　憲法遵守
小野邦英　活憲 kakken で台所 kitchen に現憲法を身近に。
現憲法を世界に広める運動が望まれます。
甲斐高之　これからも平和のために！
甲斐高之・甲斐由紀子　平和と笑顔を子どもたちにひきつぎます。
角間晴奏・角間照美　子どもたちの未来が豊かなものとなる
よういまするべきことを粛々と！！
笠井桃子　主権者の一人として憲法を守りぬきたいです。
笠松桂子　憲法をしっかり守りたい。65 才の祈りです。
柏村セツ子　軍事費を医療や福祉に！
梶原得三郎　無法政治は許せない！　何があっても戦争するな！
梶原得三郎　悪党どもの無法政治は許せない！
片井利明　改憲絶対反対
片岡英夫　第九条は子供たちのために１字たりとも変えてはならぬ
加知俊允　「第九条」とベートーベンの「第九」は人類の希望。
勝信一　昭６生れの者として戦争の悲惨さを身を持って知っています。絶対憲法を変えさせてはなりません。
加藤淳子　ひとりの命が大切にされる世界に！
加藤敬　声を出し続けていく。
加藤壽子　全ての人々の人権が守られますように
加藤富美子　自民党政権に憲法を語る資格は無い
加藤揚子　民主主義と平和は努力なしでは守れません。
金井英樹　核禁条約批准を！
金尾有理子　憲法改悪、反対！
兼崎正英　権力者は、憲法をないがしろにし、自衛隊を作り国民は憲法なんてそんなものかと思ってしまった。けれど、もう一度洗い直して、まず武器を捨て、自衛隊を災害救助隊に。
兼綱寿美子・岩木久満・芳子　ストップ！改憲改悪
鎌田利治　1925 年生れのキリスト教徒、20 歳で戦争に協力したことを悔い「戦争と差別」は絶対してはいけないと決意しました。
上高田保育園子育て９条の会　花には太陽を　子どもには平和を
亀山美代　少しですが協力させて下さい。お体を大切に。
加茂桂　心の中に平和の砦を。
蒲原ユミ子　日本国憲法は日本の誇り！　空気や水と同じに大切！
ガレリア・レイノ　ヒロシマをアートで世界に発信し平和をつくり出そう
川上賢一　5 月 3 日の全国紙と地元紙にも参加しています。
川上哲宏　大阪府門真出身の幣原総理大臣の発案による９条！
秘書の平野三郎氏のメモ（国会図書館）で明らかです。
決しておしつけではありません。
河手尚哉　どの国ともしっかり話し合い、友好的につきあいませんか？
川端栄子　平和教育が失われつつあり放置できる状況ではありません。
川端春代・山下浩一・山下夏生　命が最優先！！
神辺幸成　憲法改悪 NO ！ まず憲法を活かす生活・社会の実現を！
岸塚雅雄　平和への歩みは不断の努力の結果です。共に頑張りましょう。
木島知草・木島凜太郎　毎年ヒロシマに行っています。
8/6.9 はひろしまの映画「はだしのゲン」上映
北川まこと　未来の地球を生きる人々のために　76 歳
北阪英一　九条の平和オンリーワンーアス核原発なくして人類明日があり
北阪英一　核原発なくても地球は回る
北島浩之　自公政権の打倒を！！
北野格・北野恵子　自衛の名の下、戦争に駆り出すことを
可能にする改憲に断固反対する。
ギタリストしんじ　憲法改悪、死んでも許さない！！
木庭菊枝　大切な憲法を世界遺産に！　守ろう憲法いつまでも！
木下久美子　戦争は殺し合い。禁止しているのが日本国憲法第九条。
木村広昌　世界平和
草場純　人類に理想を！
楠譲太郎　改憲しないで平和を貫こう！
楠芙佐子　日本国憲法、日本の宝。九条、世界の宝。
久世明子　コロナワクチンに群がる人の姿に戦争って簡単に
進んでいく怖さを感じています。
國貞守男　"NO MORE WAR !We Love Peace ! "
国富建治・国富泰子　「命という宝」今、この時を生きている。
核も核兵器も基地も原発もいらない！平和な社会で働き生きる。
久保博夫　4/25 参院再選勝利に感謝！
倉澤憲司　憲法改悪絶対反対！子ども・労働者をこれ以上
あらゆる戦場に送らせないために！
栗岡成人　憲法を活かし、いのちを大切にし、お互いに支え
合う社会の実現を！
栗城理一　金権改憲の党自民は政権から退場！
核禁条約を早く批准せよ！
栗原彬　8.6／8.9 を忘れない。永遠平和のために。
黒田弘朗　拡大解釈も許すな！
黒田弘朗　憲法改悪ゆるさん！
黒田広史　ネコにも平和を！

小池宣子・小池幹雄　一人一人の命と暮らしが守られるように、
憲法に基づいた政治を！　原発、核兵器の廃絶を望みます。
髙下圭一　憲法の理念は世界に通用するすばらしいものです。
髙下圭一　日本国憲法の理念は万国共通のもの。改憲は望みません。
高力英　息の長い歩みを！
小島惠子・敏明　湯河原から全国九条の会会員にエール！
五島隆　憲法の改悪阻止して、平和を堅持！
後藤幹生　９条は人類の宝！！
小西ヒサ子・川口恵子・伊藤敏子　憲法は私たちの宝！平和を守る！
小林知子　平和を守ろう！憲法守ろう！
小林文枝　母15才の戦争の怖さ、痛さ、みじめさは私に渡されたバトン

小林將夫　憲法９条は私のイノチです。
小林良宣　憲法は日本の宝。多様性ゆたかな社会が平和の基盤
小林義朗　自民党はどの面さげて立候補するのか？ 広島の政治は「最低レベル」だと言われないような選挙に！
小山尚吾・小山和美　憲法を守らない自民党主導の改憲反対！
小山善生　この 10 年の時代の逆行で、明らかに人の命の重さが軽くなっています。怖いです。
小山善生　すでに人命を軽視する社会です。人命を第一と考える憲法の根本精神と理想を手放してはなりません。
紺田かおり・紺田亮・紺屋　守ろう生命・自由・権利
齊藤昭浩　改憲は誰のため？　いのちよりお金、平和より戦争の改憲は止めろ！
齋藤公子　北の空から思いを寄せています。
斎藤純子　ヒロシマは平和の原点です。九条は平和のとりでです。
齋藤季夫　戦争のない世界を
佐伯三枝子　恒久の平和を願う。改憲の必要はない。９条守れ。
坂口晴一郎　安倍前総理が諸悪の根源！スガソーリのシンネップリ（知らん顔）解散に今度こそダマサレテはならないぞ！
坂田光永　日本をアジアのコスタリカに
坂本文夫・裕子　九条を世界の九条に
桜井邦彦　「戦争法」は明確に憲法違反です！
佐々木真朱実　核兵器のない世界を。
笹倉建也　今こそ、憲法前文第九条
佐藤早苗　改憲は戦争への道。絶対に平和憲法を守ろう。
佐藤正八　平和とは、あらゆる紛争をなくすことである。
佐藤純子　憲法を活かし命・人権を守ろう！
佐藤節男　アジア太平洋戦争は原爆投下によって終わった世界最後の戦争であるはずなのです。
佐藤俊子　体も心も殺し殺されない平和を！
佐藤俊子　殺していい命は世界中どこにもないことを日本から発信している今を大事にしてほしい！
皿海達哉　「人類」と呼んでいいのは「赤ちゃん」だけだ。
沢口悦子　平和と人権、くらしを守ろう
三多摩演劇をみる会有志の会　９条で文化の灯を守ろう！！
塩野たつ子・塩野龍男　憲法かえるな　政治をかえよう！！命を守り九条守ろう！！
志岐常正　宇治市木幡九条の会から連帯の挨拶をこめて
下末かよ子　戦争しない日本を次世代につなごう！
柴田憲一・柴田美和子　核兵器をふくめ軍事では紛争の解決にはならず悲劇を生むだけです。
柴田憲一・柴田美和子　憲法を厳守することこそ真の安全保障
島上きく　お友だちとお金持ちだけでなく、弱い人、小さい人の人権が守られる日本へ！
島根　飯南　はとぽっぽの会　今年も平和のつどいを催します。島根からみんなの思いをひとつに！
島野博之　戦争は、人権を奪い、社会を殺します。今こそ９条を高く掲げよう。
清水正人　市民の自由を制限する改憲は認めない。
庄司裕貴　子ども達に戦争のない平和な世界を残したいです
白井千也　平和を守るために
白井徳満　しろがねも　くがねもたまも　何せむに　まされるたから　平和憲法に　しかめやも
白戸清　ヒロシマ、ナガサキの対極にあるものは「核の傘」です。アジアの国々が真の平和を求めて、No 核の傘
城間和子　１人が１人に、そして又、その１人が１人に、伝えて行こう。
城山大賢　非武装　絶対平和を
新保幸子　戦争は最大の人権侵害です。戦争できる国をめざす改憲を阻止しよう。
菅茂樹・みゆき・こゆき・惇　声を上げ続けていきましょう
菅原鉄也・菅原和子　310 万人の尊い命を犠牲にして、成立した日本国憲法です。改悪は絶対に認められません。
菅原鉄也・菅原和子　核廃絶は日本国からこそ訴えるべきです。核の傘は古い考え方です。それから脱却するべきです。
杉田尋子　憲法、９条は宝もの。悲惨な戦争を国にさせないために。
杉林晴行　いかなる理由があろうとも先制攻撃をしてはならぬ
鈴木進　憲法改悪に反対致します。
鈴木哲朗　平和
鈴木聖幸　誰もが命と尊厳を守られる社会を子や孫たちに！
砂畠祐子　国会中継を観ましょう
関口耀子　憲法九条は死守したい！ヒロシマの犠牲者を忘れない。
関千枝子　広島の情報も楽しみでこの会報に励まされています。
関根世志子　平和憲法があるから世界中旅行出来ています。普通に生活できる日常を永遠に。
髙岡純子　九条があるからこそ日本は何とか許されているのだ。
髙木伸子・髙木純吾　平和のメッセージは広島から
高崎孝子　どこにもいつでも武器はいらない！！
高島武雄　違憲の軍隊、違憲の軍事同盟はいらない！！
高瀬慶子　世代をつなぐ継続の灯を生き生きと続けましょう。
高田由美　改憲国民投票法案「改正案」と重要土地調査規制法案に反対します。廃案にして下さい。
髙橋昭雄　憲法九条を完全実施する日本をめざそう！
髙橋敦也　こどもたち、未来のこどもたちに、だれもが大切にされる世の中を残したい！！
高橋知可子　憲法改悪絶対反対！　軍隊・軍備・戦争阻止！平和憲法を守る！！
髙磨眞佐子　すべての人から飢え・恐怖・貧困が無くなるように。
髙磨眞佐子　武力行使で平和は維持出来ない。
田口恵美子　86 才いつまで応援出来る？　憲法９条守り平和を！
詫間敬久　元「軍国少年（87 歳）」は、もう騙されんゾ！
竹内俊輔　政府は 18 歳になった全員に憲法条文を配る事、大人として当然。中・高校生にもっと憲法を勉強させる事。
竹下忠彦　ストップ！憲法改悪。日本国憲法を護ろう！
武田隆雄　９条は私たちのいのち！９条に感謝！
竹林久榮・竹林自然　未来の子どもも守りたい
竹村聡子　コロナ対策せず、コロナにつけこみ改憲なんて許さない！
太斎義明　日本国憲法は日本の命です。
田嶋孝至　ストップ憲法改悪＝ストップ核＝いのち・人権を守ること
田代ふう　たたかいはやめようね
タダマサヤ・タダヨシコ　ぜんぶんと９じょうをいわみがわらにやきつけたもにゅめんとをたてるつもりです。
巽裕子・巽良輔・八島亜弥　憲法と人権守って明るい未来！
田中克樹　名も知らぬあなたのために
田中暉彦　コロナ禍、失業等で、弱い人たちの命が奪われています。
田中暉彦　人権・平和を中心メッセージとしている日本国憲法を守り、発展させていかなければと心から思っています。
田中透・林正英　憲法は死なない！

田中義行・鳥越ゆり子　一切の者刀杖を畏る、生は一切の者の愛する所、己を比況し、殺す勿れ、殺さしむ勿れ（『法句経』荻原雲来訳）
谷紀人　世界平和の実現を！
谷井尚子　本当のことを国民だれもが分かり、自分のこととして判断し、意思表明することが、何よりも重要です。
谷口八重子　恐ろしい人生の記憶の底から平和の約束が続くように
田渕英久　反戦・平和の九条を守ろう！
玉城陽子　核のない世界を！
玉元晴美　世界の宝　不戦の誓い　憲法九条をとこしえに守ろう！
田丸昭　貧富をなくし、全世界にお互いさまの心を
田村章　日本国憲法をわたしたちの生活にきちんと生かそう
田村順玄・田村清美　反基地の声をイワクニから発し続けます。
千葉利江　憲法九条を未来へ残します。
超保守的なキケンジジイ　戦争とは悪であり国家の行なう犯罪行為だ！　安保粉砕！　辺野古基地建設反対！
塚原貴代美　地球をよごさない。美しい地球に。自然を守ろう。
辻辰生　司法は 99 条違反者を取り締まり、98 条抵触法を差止めすべし。法の番人は役務をさぼるな。
寺尾光身　九条を世界憲法に！
寺田真人　平和は与えられるものでは無く市民の日々の積み重ね。壊すのは一瞬。本当の過ちは反省を拒否する愚かな人民。
寺西義廣・寺西純子　九条を守り、戦争のない平和な社会の継続を。ストップ憲法改悪！
傳道肇・傳道美由紀　平和憲法は身近な鏡
土井辰夫　何度でも言う。戦争はダメッ。
土井登美江　平和にむけてまた一歩、不断の努力で核兵器禁止条約の締結へ
土井由三　違憲の法律をつくる者に憲法を語る資格なし。
土井律紀・尚美　日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准せよ！武力でなく、外交で世界平和を！
道津弘二　憲法にあるように私たちの命とくらしを守る政治を！
當山全治　憲法改悪断固阻止！！
渡口差知子　いのちを守り共に生きよう！
徳本公子　９条を持つ幸せをかみしめて安保法制廃絶しよう
渡久山修　非武装こそ平和への絆。軍事予算を福祉･教育に転換を！
戸館亜輝男　みちのく青森から応援します！
戸野寿美江　平和を守ろう。孫、ひ孫の世代迄も！
殿林正行　紛争は軍事力でなく話し合いで解決を！軍事力の増強は争いを生み平和のためにはなりません。
豊田洋実　80才の今も忘れない平和憲法を守り継ぐと約束した師の授業
豊永恵三郎　修学旅行生に９条の大切さを訴えています。
内藤訓治　憲法改悪反対！！九条を守り抜こう
中尾貢三子　人類の宝９条を大切に守り、次の世代につなぎたい
中司勝人･京子　戦争へと進む道､人権をふみにじる政治は許せない！
中根恵子　権力者の暴走ブレーキ平和憲法９条を守りませんか？
中藤克彦　九条は絶対守りたい。
中村隆昭　自公の力を弱める過半数以下に。金曜日については与党､いえ多くの人が良いとする事は報道する事に優先すべき。
中村信義　憲法９条が当たり前の社会を目指したいですね。
中村寛志・貴美子　静かな平和を望む！底力のある平和を望む！
中村好江　唯一の被爆国の大人として平和を守る責務がある。
中本博光　私は呉出身。原爆投下直後の広島はキョウチクトウが盛りだったそうで私のおばは生涯キョウチクトウを嫌っていました。

中山省三　憲法は最後のより所。スクラムを組んで守りましょう。
中山誠一　基地も軍隊もいらない。ほしいのは、平穏な暮し。
永山良樹・京子　Go to vote ！　自自公維から日本を取り戻そう！自公政権とその補完政党にＮＯを！
菜歩季　人権を守る憲法。改悪のための詭弁は許さない！
奈良本英佑　軍備が肥大した現実に憲法を合わせるのは逆立。
成田強　緊急事態は自公政権が続くことです。
成島有史・成島順子　現憲法の実践を求める国民は、実践しない政治家をじっくり見ている。
新妻博佳　９条を改悪する議員は選ばない！
新美明夫・新美寿美子　第九条を大切に！死守していきたい！
西明雄　憲法を変えて貴方に何か良いことが起こりますか。
西正　コロナ禍では社会変容をしていかなければその国は衰退の一途をたどる。国民に寄り添い国民のための政治に舵を切るべき。
西家美智代　弱き者への経済的徴兵制度反対
西川恵子　憲法第九条を世界に！
西川順一　憲法九条を改悪し戦争する国（普通の国）にしてはならない。
西川哲彌　九条を守れ、憲法を守れ。
西澤幹雄　終戦で唯一良かったことは憲法第九条を獲得できたこと。
西原洋子　その一歩　命と自由を守る平和な世界のために
西矢恵子・三上弘志　加害の歴史を消し去らず、被害、加害両方を見つめ、伝えて行こう。
仁田坂喬一・百合恵　1946 年公布の憲法を壊すことばかり考える人達が「改正」された憲法を遵守するかどうか不安です。
根本准子　戦争が嫌なのは戦争に向かう時、必ずものが言えなくなるから。その空気が怖い。
能仁智子　多くの尊い命の犠牲の下に生まれた憲法をもっと大切に。
No Base! 沖縄とつながる東部の会　重要土地（人）調査、規制法案をとめよう！　廃止しよう！　宮古島へのミサイル基地建設阻止！　安保自衛隊容認許すな！
野口春夫・野口幸子　憲法を守り若者を戦場へ送らない世の中に
橋本あき・橋本希和　この痛みは子へ孫へ引き継がれていますが、ホントの平和が来る日を願います。
橋本千文　この非常時に、改憲論議？情報集めの法律作り？今、コソコソせんならんことなのですか？
蓮岡鉄雄　緊急事態条項、絶対阻止。
畑真理子　ヒロシマ・ナガサキ・フクシマを忘れるな！未来の子ども達のために。
花ノ木清子　広島から世界平和号永久発信！
羽江育子　改憲反対！！
林秀信　憲法は私たちの未来！未来の切売り（改悪）許さない！
林田愼一郎　国家優先といいながら私利私欲に走る現政権に NO ！
早舩セツ子　憲法９条は平和を願う人類の宝です。
原郁夫・邦子　一日でも早くこの地球の様々な争いが終わりますように
原田恭子　戦後 75 年間、日本政府が戦争をしなかったのは、憲法があったからこそである。
日笠修宏　唯一の被爆国として核兵器禁止条約に参加を！原発の即時廃止を！
人見禎子　九条を守りひろげて世界に平和を築こう！
日比伸子・今田和弘　平和と自由ほど尊いものはありません
平尾芳郎　５万年前は人類皆兄弟のはずでは！？
平川達夫　あの戦争を、あの原爆を永遠に語り継ごう
平田里文･悦子　「核」は絶対悪。被爆Ⅱ世、Ⅲ世は苦しんでいる！

平田弘子　戦争は国家による殺人行為です。どんな理由があってもかけがえのない命をうばうことは反対です。
廣瀬都子・廣瀬忠久　活かそう日本国憲法！
福惠正勝　あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。
福祉保育労組　広島支部　平和こそ最大の福祉
福田やよい　憲法９条は命です。
藤井石根　平和と無縁の改憲より気候危機回避対策を！
藤井慶輝　加齢とともに収入減。心は変わらず。衰えず。
藤井洋文　祝. 核兵器禁止条約発効、一歩前進、さらに前進。
藤川博正・布子　戦争を可能にし人権を縮小する憲法改悪に反対！
藤澤宜史　９条と共に生きる
fujisan　インド太平洋戦略派兵の為の改憲反対！
藤代誠一・藤代香代子　次の世代へ平和で自由な社会を！
藤田欣弥　「センソーホーキ」「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」を世界中の合言葉に
藤野尚子・藤野雅己　一人ひとりを守る、と今の憲法に書いてある。だから改憲 NO ！
藤野美津子・時永咲枝　平和な未来を築く為、すべての国に９条を
藤村美登里　ストップ改憲改悪
藤吉博明　人の世に「９条」あれ！！
渕上慶子・渕上佳英　戦争は絶対だめです。世の中が、戦争の方へ向かっているようでとても心配です
古川佳子　コロナ撲滅に人殺しの武器はなす術もなし、ワクチンをこそ世界中へ
古澤望　４月に平和記念資料館に行き、原爆被害の実相をくわしく知り、核兵器のない、平和な世界の実現のために行動しなくてはいけないと強く思いました。
古田励子　何が何でも戦争放棄
別木由枝　被爆した父も母も逝ってしまいました。今度は、私が孫に語りつぐ番です。
堀内隆治　日本国憲法第９条は世界の宝！
堀場清子　「黒い雨」訴訟に控訴した市長に「平和宣言」の資格なし
米谷知榮　全世界にまことの平和と核廃絶を！
前田トヨ　第九条は絶対守りたいです。
まえだヒソカ　戦争の反省からうまれた憲法。政府は憲法を守れ！　人権を守れ！
前畑ゆかり・章子・京子　（いのち・人権を守ろう）の　呼びかけから、日本に居住の技能実習生の苦しみ（安価に重労働させ、暴力まで振るわれた）とのドキュメント番組を見て、許されない事を管理責任者は早く介入の上助けて欲しいのです。
牧瀬茜　戦争しない、戦争に加担しない、戦争のない未来をつくりたい
まきちゃん＆まぁすけ　憲法を檻の中のライオンにしてはいけない。
牧野正博　絶対戦争をしない、させない。当たり前のこと
政池節子　小さな力も集まればあなどれません
正富久子　小石がいっぱい降っている。これが巨岩にならないように！
増井幸子　平和な世界を次世代に。
松井さとみ＆家族　あなたの命も私の命も大切です。
松井久治・松井昌重　９条は日本の宝です。
松鵜光子　祝核兵器禁止条約発効。日本も批准を！
松尾重信・松尾福子　憲法の理想を世界に広げたい
松﨑佳代子　未来の人々に真剣に責任をもとう
松下智子・良博　何としても九条は守りぬかなければ！平和のために！
松田智　核と人間は共存できない。
松永尚哉　私たち一人ひとり守ろう「憲法九条」いつも感謝しています。
松本和美　核兵器が三度地上で使われませんように！
松本正次　お金であやつられる国民にはなるまい。
松本正孝　いのち、生活を守ろう！
真鍋知巳　闘い続けよう。中国重慶爆撃 で４万人死亡。30 年位前に 8.6 大会で重慶抗議団から聞きました。
真鍋裕子　憲法が守られる政治を希望します！！
萬宮千鶴子　国家といえど国民に対し秘密にしていいわけはない。
三浦千賀子・三浦勉　平和憲法を守ってこれからもがんばろう！
水原史雄　再生エネルギーは一般住民にとってはまさに自然破壊エネで、会として断固反対を貫いてください。
三角忠　「核と人類は共存できない」8.6 はこの言葉を胸に刻む日。
三谷雅子　平和を作ろう
宮尾素子　権力をもつ者たちはまず憲法を守ってほしい。
宮岡照彦　「敵基地攻撃論」に反対します。
宮川蛍・文子・堀田朝子　この憲法は平和を守る最後の砦です。
三宅正徳　世界に誇る平和憲法を活かし、いのちと人権を守ろう！
三宅康博・三宅三枝子　戦争は最大の人権侵害
宮野誠司　世界中の国が武力によらない平和実現を希求してほしい。
宮本優子　平和の道しるべ戦争ほうきを大きな声で、戦力ふほじを日本の九条、世界の九条、平和の道しるべ憲法九条
三芳英教　第２次大戦で、軍隊では国民を守れないことを学び、９条が生まれたことを忘れてはいけない。
宗近弘武　本当のことを国民だれもが分かり、自分のこととして判断し意思表明することが何よりも重要です。民主主義国家は、自立し共生する国民ひとりひとりによってしか創れません。
村上規男　なんだかんだあっても我らが憲法、早く変えたい菅政権
村田敦子　子どもたちも平和な世界を目指し活動している。大人はもっとガンバロウ
村松正樹　憲法９条を世界に広げましょう！
室塚崇夫　不戦の誓いを　九条を　今こそ全世界へ
毛利勇二　国際社会への誇るべき約束事です。
桃原久枝　現政権の在り方に深く絶望しています。
森和恵　安保法制違憲訴訟の原告として法廷に立ちました。「主権は我に」と声をあげて。
森繁美　平和に軍も兵器もミサイルもいらない。愛と誠心のみ！
森匡世　戦争は奪い合い殺し合い人間を悪魔にする。九条を守ろう。
森下育代　コロナ禍の今改めて考えたい。安心し人間らしく生きることを。
森永肇子　自民党政権が続く限り９条が生き残るよう見守らねば。
守谷香代美　九条の会活躍は嬉しい。憲法改正などと騙されないぞ！
守屋光雅　九条守れ！
諸橋泰樹　コロナの今、どさくさまぎれの改憲を阻止しよう！
矢岡真　憲法 25 条を守らず、9 条を改悪しようとする元総理や自公政権に存在意義なし。
矢岡真　国民を馬鹿にするな！！憲法９条は日本の宝です。自らの私欲の為に改憲など言語道断です。
柳沼吉孝　人間の力を信じています。それが私の希望となっています。
柳生房子　自助の日本。命も生活も自分たちで守る。国の勝手にはさせない。憲法改悪、阻止あるのみ！
保浦省司　活憲！理念を実現しよう
安田佳子　核を持てば、人類全て破滅
矢三隆司　９条実現！スカ政権にさよならを！！
柳谷恵津子　戦争のない平和な世界をわれわれの手で
柳瀬文恵　憲法９条は平和の砦
八幡博己　憲法改悪を許すな！！憲法を生活に！！

山内博喜　地球上のみんなの生命が輝けるよう、
平和憲法を守り世界に拡げよう。
山上敏秋　９条は世界の宝
山岸裕吉　「屍の街」の記憶、権力者たちの傲慢無礼な行為を
支える目の前の金を捨て金のない世界へ！
山口久美子　わたしは希望を捨てない
山崎猛　アベ・スガで毀れるところまで毀れ、コロナ禍に沈んだ政治を
立て直し、憲法を護り、いのちと人権を最優先にする政治をとり戻そう。
山城正常　核禁条約　日本こそ早期に批准を！
山田薫　憲法を守り世界の平和に
山田雅美・山田千代子　９条を次世代にバトンタッチしよう！
山寺亮・山寺恵美子　１条から８条までは削除。
山根敏英　武力による威嚇、又は武力の行使による平和はいらない！
yamahana トッコさん　平和を未来の子どもたちに残したい！
山本暁美　処理水海洋放出、絶対反対。次世代にまわさないで！
山本暁美　自助ばかりの政策。政治は公助のためにある。
山本きよみ　食べて学んで働いて人と語らい自然と生きる。そこに憲法が。
山本繁・朝栄　野党共闘の宮口さんの勝利かちとりましょう。
山本俊彦・尚子　核兵器と原子力発電所の廃絶を 2050 年までに。
山本博子　武器の爆買いよりも一人ひとりの命と暮らしを守る安全保障を
結城範子　誰も戦争遺児にしてはならない。
湯本佳名子　たったひとつ、されどひとつ。
信じてるよ！平和憲法。日本の良心。
横山あつ子　全ての人が等しく幸福を感じられる世の中であり
ます様に！平和である為の努力を忘れない様に！
横原由紀夫　憲法を活かしてこその民主主義！
横山淳　戦争への道を封鎖し、核廃絶への道を拡張す。
横山一郎　ヒロシマは自民党が圧倒しているということですが、
…大阪も大阪維新、自民でケンカしながら好き放題しています。
横山新太郎　９条の心！
吉岡隆　小さな応援集まれば大きな力になることを願って
吉田邦子・信夫・千葉和子　広島の皆さまと北の端からつながる
幸いを感謝いたします。武器のない平和を祈り求めます。
吉田耕太郎　核兵器はいらない！核発電もいらない！
吉田展子　平和
吉田良順　緊急事態条項は独裁への道だ！
芳野彰・芳野奈津子　もっともっと憲法を活かそう！
吉野健二　平和を未来の子どもたちに残したい！
與芝豊　九条に勝る自衛手段は有りません。
吉原絹子　今こそ力を合わせて、改憲を止めましょう。
吉原美玲子・吉原克弥　わたしはいつ迄も平和のスポンサー！
吉村公一　今の第九条は一字一句たりとも変えてはならない。
吉村りよみ　デジタル法　個人情報まるはだか
米山容子　９条を世界遺産に
若松伸明　デモ隊の列途切れるな　途切れないことでやがては
川になるのだ（萩原慎一郎）
和木祐一　戦争とは人殺し、どんな理由があろうと人殺しが
良い訳がありません。第九条とにかく死守です。
脇義重　オキナワ・ヒロシマ・ナガサキの直接の原因は真珠
湾攻撃です。敵基地攻撃構想に反対します。
渡邊真臣・渡邊好子　加害の歴史を忘れず、軍事大国化・警察
国家化に反対していきましょう。

活動報告（第九条の会ヒロシマほか　関連団体、実行委員会含む）

中電はボーリング調査をやめろ
上関田ノ浦現地行動

6 月　2 日（木）　「慰安婦」ネット　水曜行動（広島本通り）12：00
3 日（木）　ヒロシマ総がかり 3 の日行動　中止
第九条の会ヒロシマ会報 110 号発送　大井中広事務所
23 日（水）　「6.23 沖縄慰霊の日」ひろしまのつどい　原爆ドーム対岸　18 時半～
25 日（金）　中電株主総会 10 時～（脱原発株主の会）　本社前行動 9 時～ 12 時（上関ネット）
29 日（火）　中電ボーリング調査抗議文提出 12 時＆抗議行動　本社前～ 13 時　上関ネット
30 日（水）　ピースリンク　呉駅前街宣 17：45 ～　（例会　18：30 ～）
7 月　1 日（木）　第九条の会ヒロシマ世話人会　＆ヘルプハガキ発送
3 日（土）　ヒロシマ総がかり 3 の日行動　広島本通り電停前
7 日（水）　「慰安婦」ネット　水曜行動（広島本通り）12：00
8 日（木）　第九条の会ヒロシマ世話人会　14 時～　共同センター
15 日（木）　第九条の会ヒロシマ世話人会　14 時～　国際会議場 3 F 研修室
21 日（水）　上関原発止めよう！広島ネットワーク中電本社前行動
8.6 新聞意見広告名簿整理①　13：00 ～国際会議場 3 F 研修室
22 日（木）　8.6 新聞意見広告名簿整理②＆紙面確認　13：00 ～国際会議場 3 F 研修室
23 日（金）　8.6 新聞意見広告掲載名簿作り　→　紙面へ　～ 27 日（日）
26 日（月）　8.6 新聞意見広告紙面校正①　広島国際会議場 3 F 研修室　14：00 ～ 17：00.
27 日（火）　8.6 新聞意見広告紙面校正②　広島国際会議場 3 F 研修室　14：00 ～ 17：00
28 日（水）　8.6 新聞意見広告紙面　校正③最終　広島市民交流プラザ会議室 B　14：00 ～
8 月　4 日（水）　「慰安婦」ネット水曜行動　広島本通電停前　12 時～
5 日（木）　8.6 ヒロシマ平和へのつどい（広島市民交流プラザ）1800-2000　講演：湯浅一郎さん
6 日（金）　8.6 新聞意見広告掲載　カラー版（市民による平和宣言も）配布はしない
7：45 ～「グラウンド・ゼロ」のつどい　8:15 ～ 追悼のダイ・イン（原爆ドーム前）
8：30 ～　8.6 広島反原発デモ　原爆ドーム前～中電本社前
9：00 ～　脱原発座り込み行動
9 日（月）　8.6 新聞意見広告カラー版発送　市民交流プラザ会議室 A
16 日（月）　第九条の会ヒロシマ世話人会　国際会議場研修室　中止
18 日（水）　上関原発止めよう！広島ネットワーク中電本社前行動　中止
9 月　1 日（水）　「慰安婦」ネット水曜行動　広島本通電停前　12 時～
9 日（木）　第九条の会ヒロシマ会報 111 号　発送作業　大井事務所

中電はボーリング調査をやめろ
本社前行動

8.6 原発やめよう中電本社衛座り込み

お知らせ

広島もコロナ感染状況が厳しくなったため集会はオンライン、リアル併用が増えています。会場に集まる場合は予定変更もありますので、連絡先までお問合せください。主催者も参加者も、密を避けて間隔をあけ、換気に気をつけ、必ずマスクを着用しましょう。発熱等体調に不安のある方は参加をご遠慮くださるようお願いいたします。

◆日本政府による歴史の改ざんを許さないために
「河野談話」の空洞化と教科書攻撃のねらい オンラインシンポ
9月25日（土） 14：00〜16：30　zoomウェビナー　事後配信あり
講演①河野談話の空洞化はどのように進んだか
渡辺美奈さん（「女たちの戦争と平和資料館」館長）
講演②「慰安婦」記述をめぐる教科書問題の経過とわれわれの責任
高嶋伸欣さん（琉球大学名誉教授）
参加費・資料代：1,000円（学生・障がい者　無料）
申込期間：8月20日(金)〜9月18日(土)17時まで
申込先：ianfnet.hiroshima@gmail.com
共　催：教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま
日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク
連絡先： 090-6830-6257（岸）　090-3632-1410（土井）

◆みんなで水源保護条例をつくろう〜守ろう！私たちの水！！
9月26日（日）14：00〜16：00　参加費：無料
三原市芸術文化センター（ポポロ）三原市宮浦２－１－１
講師：橋本淳司さん（水ジャーナリスト）
「わたしたちの水を守るために」　※リモート講演となります
主催：水源保護条例をつくる三原実行委員会
連絡・問合せ先：090-5265-3855（安藤）080-3882-2372（岡田）

◆九条の会・はつかいち　総会と憲法講演会
毒ガス島(大久野島）の歴史
10月9日(土)（総会）13：30、（記念講演会)14：15〜16：30
講師：山内正之さん（大久野島から平和と環境を考える会）
参加方法：会場参加（廿日市市　市民活動センター2階第1研修室）
オンライン参加（〜10月６日
(nitta-hideki@kni.biglobe.ne.jp)へ事前申し込み）
参加費：500円（学生・障がい者無料）
主催：九条の会・はつかいち
連絡先：090-3373-5083(新田)

◆第10回共生フォーラムセミナー
「NHKタイムライン問題を検証する」
10月9日(土)14時〜16時30分
報告1 広島弁護士会「要望書」について
権俊五(コン　ジュノ)さん、呂世珍(リョ　セジン)さん
報告2 対話することの意義について　笹川俊春さん
会場　広島市西区地域福祉センター3階大会議室
参加資料代　500円
主催：共生フォーラムひろしま　連絡先：法人事務局070-3771-9235

◆ペシャワール会・ふくやま講演会
「アフガニスタンに命の水を〜中村哲医師・PMSと共に」
10月16日（土）14：00〜
福山市まなびの館・ローズコム　4階大会議室
講師：藤田千代子さん（ペシャワール会PMS支援室室長、総院長補佐）
参加費：500円（18歳以下無料）
主催：ペシャワール会・ふくやま　連絡先084－972－5590

◆和解を導いた力
--西松建設原告団長・呂学文さんの闘いをふりかえる
10月16日（土）14：00〜16：30
広島弁護士会館３階ホール　　参加費：500円

◆第14回中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い
10月17日（日）13：30〜14：30　　参加費：無料
「安野中国人受難之碑」前（安芸太田町坪野 安野発電所
主催：広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会
連絡先：080－3880－8340（川原）

◆10.26反「原発の日」中電前行動
10月26日（火）12：00〜13：00　中国電力本社前
スピーチ、詩の朗読、歌など予定
主催：上関原発止めよう！広島ネットワーク
連絡先：090-7548-6558（溝田）

◆高校の新しい科目『歴史総合・公共』って何？(仮題)
１１月２３日(火祝)予定
オンラインで実施予定（要予約、参加費未定）
報告者　：教科書ネット・ひろしま
連絡先　：090－6830－6257（岸）
kyoukasyonet-hiroshima@gmail.com
（予定・未定は、後日お知らせします）

◆女性に対する暴力撤廃国際デー
〜キャンドルアクションinひろしま〜
11月25日（木）17時半　　原爆ドーム前（詳細は未定）
主催：日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク
連絡先：　090-3632-1410（土井）

◆日本軍「慰安婦」問題解決のための水曜街頭行動
毎月第一水曜日（原則）10/6　11/3　12/1
場所：本通り電停前　　12時〜13時
内容：リレートーク・チラシ配布・
『岩のように』歌とダンス
主催：日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク
連絡先：　090-3632-1410（土井）

◆ドキュメンタリー映画「私はチョソンサラムです」
広島上映とトークイベント
2022年1月16日（日）13：30〜17：00　西区民文化センター大ホール
講師：康宗憲さん（韓国問題研究所代表）、
金昌五さん（在日韓国民主統一連合大阪本部副代表委員）
朴錦淑さん（京都朝鮮高級学校オモニ会元会長）
参加費：当日　1800円、前売　1500円（学生、障がい者無料）
主催：映画「私はチョソンサラムです」広島上映実行委員会
連絡先；090-7540-0332（大月）　choseonsaram.h@gmail.com

事務局から

2021会費（カンパ）をよろしくお願いしま〜す！

・8.6新聞意見広告2021の賛同金、年会費・カンパを送ってくだった皆さま、有難うございました。お陰で今年も8.6新聞意見広告を掲載することができました。21会費がまだの方、今後もご支援ください。よろしくお願いいたします。
・封筒のタックシールに皆さまの入金状況を記載しております。もしこちらの間違いがあれば、遠慮なくご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

後記

・今年の8.6意見広告には昨年よりずっと多いメッセージが届き「一緒に作る意見広告」という願いが叶って本当に嬉しい！
・やっと原稿を書いたと思ったら、菅首相総裁選に出ないというニュース。ほっておけないし、書き直しでもなぁ　あ〜ぁ
・お金をもらっても罪にならない河井問題や、ビルマ（ミャンマー）他お願いしたかった原稿はいっぱい…　次号はぜひ！
・今年の意見広告に保存決定の旧被服支廠のシルエット、続いて旧陸軍輜重隊の遺構が見つかった。加害の歴史は後世に！